

結婚・出産・子育てに関する意向 調査報告書

調査対象：20～39 歳 根室市民

平成 2 7 年 8 月 7 日

結婚・出産・子育てアンケート調査

(1) 回収状況

年齢が20歳から39歳までの根室市民を対象として結婚・出産・子育ての現状と課題を把握するために、郵送にて配布・回収を行った結果、有効配布数1,982票に対して436票の回収票を得た。有効回収率は22.0%であった。

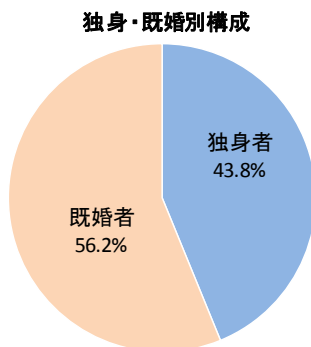
回答者の属性をみると、43.8%が独身者で、56.2%が既婚者であった。性別構成をみると、特に、既婚者では男性が30.2%、女性が69.8%となっており、女性の回答率が高くなっている。

■結婚・出産・子育てに関する意識調査の回収状況

アンケート調査の種類	対象	調査方法	有効配布数 (票)	回収数 (票)	回収率 (%)
結婚・出産・子育てに関するアンケート	20歳～39歳までの根室市民	郵送配布・郵送回収	1,982	436	22.0%

■回答者の属性

(独身者・既婚者別の構成)



(回答者の性別)

	独身者		既婚者		計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
男性	83	43.5%	74	30.2%	157	36.0%
女性	108	56.5%	171	69.8%	279	64.0%
計	191	100.0%	245	100.0%	436	100.0%

(回答者の年齢構成)

	独身者		既婚者		計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
20～24歳	49	25.7%	16	6.5%	65	14.9%
25～29歳	70	36.6%	54	22.0%	124	28.4%
30～34歳	43	22.5%	83	33.9%	126	28.9%
35歳以上	27	14.1%	90	36.7%	117	26.8%
不明	2	1.0%	2	0.8%	4	0.9%
計	191	100.0%	245	100.0%	436	100.0%

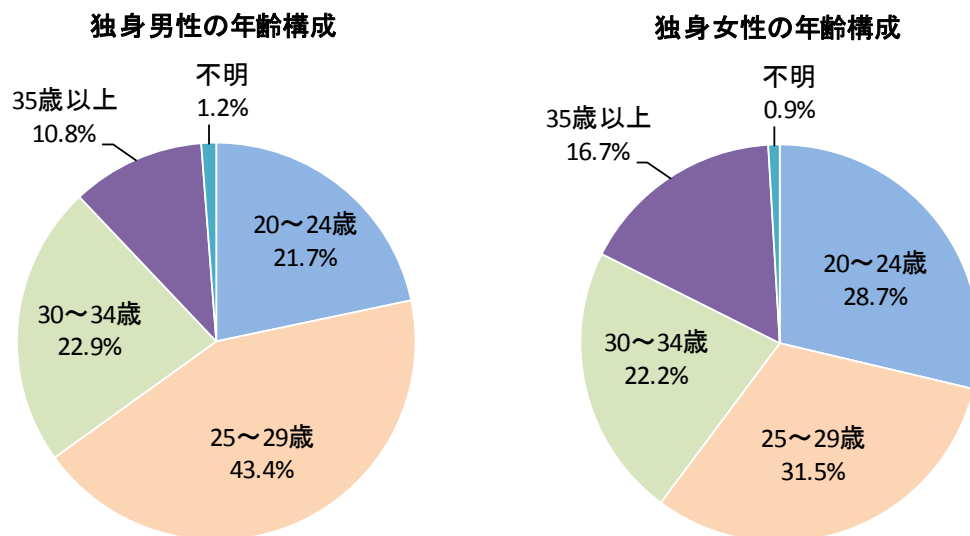
(2) 集計結果

①回答者の性別年齢構成等

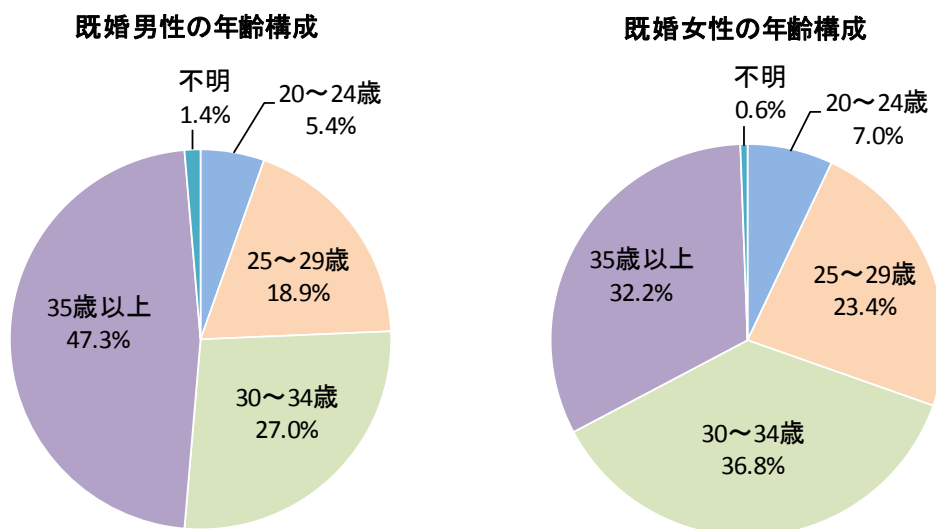
回答者の性別年齢構成は、独身男性では、25～29歳が最も多く、次いで30～34歳、独身女性では、25～29歳が最も多く、次いで、20～24歳となっている。

既婚者では、男性は35歳以上が47.3%と最も多く、次いで、30～34歳、女性は30～34歳が最も多く、次いで、35歳以上となっている。

(独身者の性別年齢構成)



(既婚者の性別年齢構成)

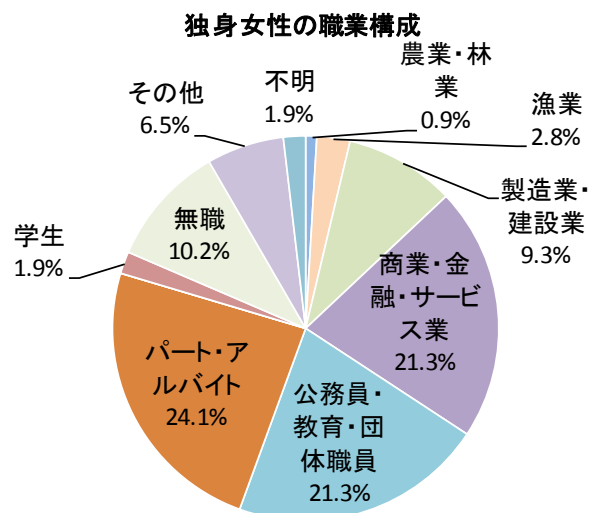
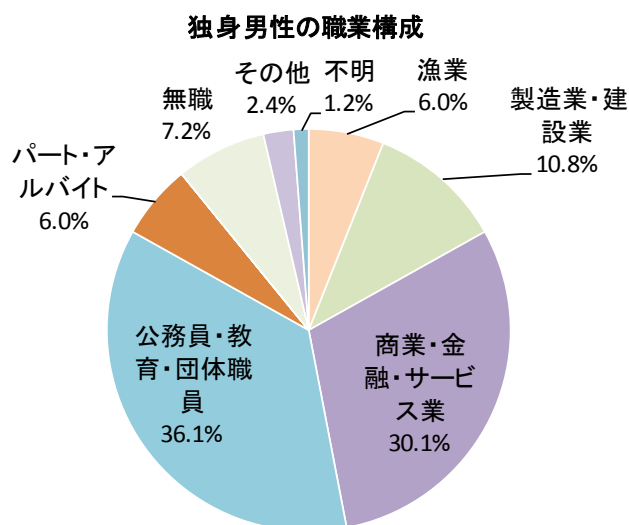


②回答者の職業

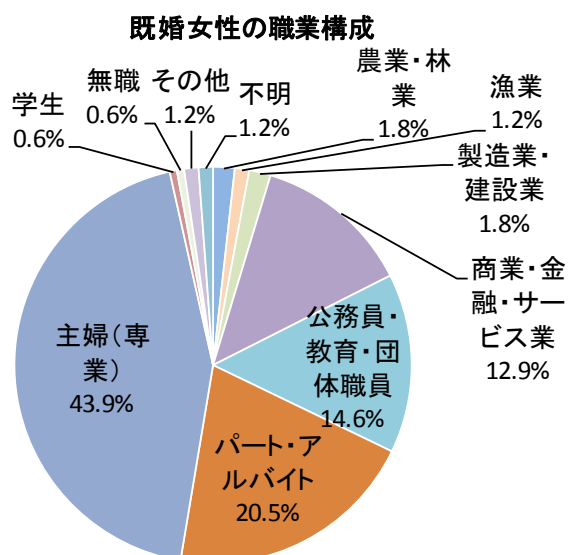
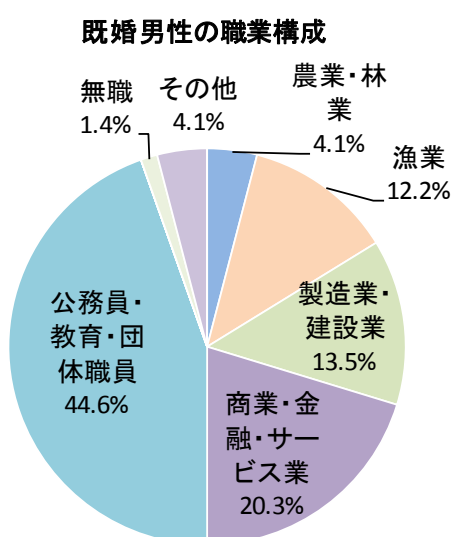
回答者の職業は、独身者は、男性では「公務員・教員・団体職員」、「商業・金融・サービス業」が多く、女性では「パート・アルバイト」が最も多く、次いで、「公務員・教員・団体職員」と「商業・金融・サービス業」となっている。

既婚者は、男性では「公務員・教員・団体職員」が最も多く、次いで「商業・金融・サービス業」、「製造業・建設業」、「漁業」となっている。女性では、「専業主婦」が最も多く、次いで「パート・アルバイト」、「公務員・教員・団体職員」等となっており、共働き世帯が多いことが伺える。

(独身者の性別職業構成)



(既婚者の性別職業構成)

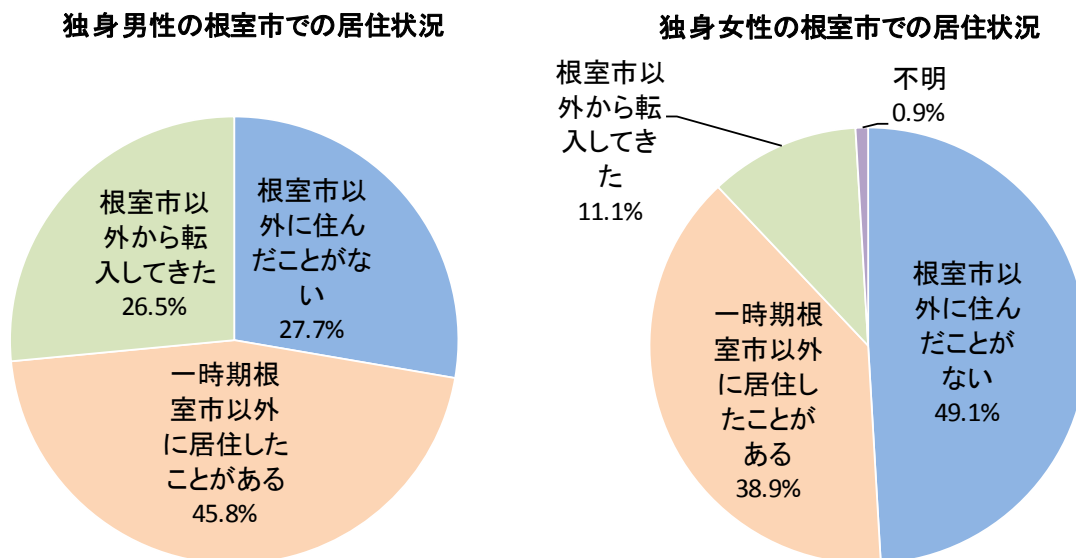


③回答者の出身地

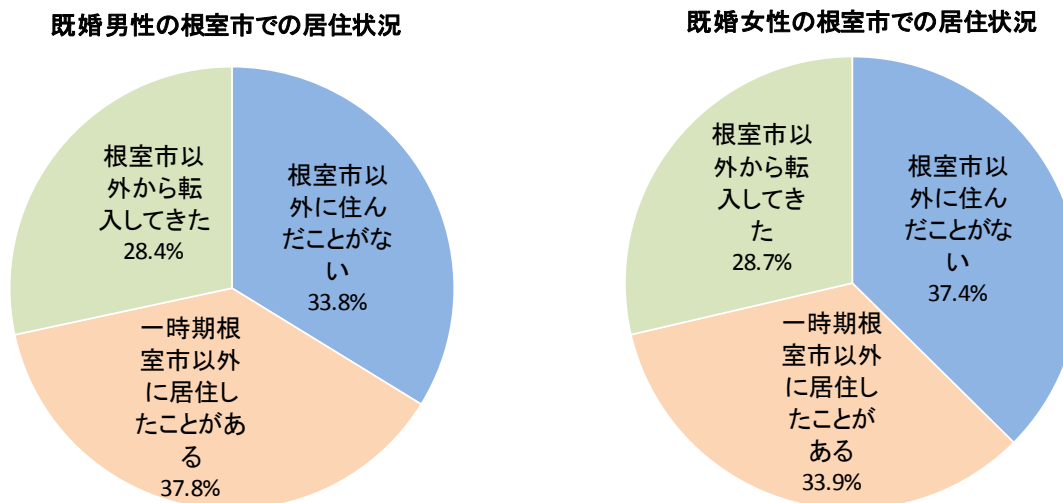
回答者の出身地は、独身者では、男性は一時市外で居住した方も含めて根室市出身者が 73.5%、女性は、88.0%が根室市出身者であり、女性の方が根室市出身者の割合が高い。また、進学や就職、転勤等の都合で一時期根室市外に居住し、再び根室市に居住している人の割合は、男性が 45.8%、女性が 38.9%と多い。

既婚者では、男女ともに、一時市外で居住した方も含めて根室市出身者が 7 割を超えている。

(独身者の性別根室市での居住状況)



(既婚者の性別根室市での居住状況)



④一時期根室市外で居住、もしくは根室市以外出身者の根室市転入前の居住地

(根室市への転入前居住地の詳細分析は転入者アンケートで実施)

独身者の根室市転入前の居住地

	男性		女性		計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
中標津町	2	3.3%	2	3.7%	4	3.5%
別海町	2	3.3%	0	0.0%	2	1.8%
その他根室振興局管内	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
釧路市	6	10.0%	7	13.0%	13	11.4%
札幌市	21	35.0%	17	31.5%	38	33.3%
その他道内	10	16.7%	11	20.4%	21	18.4%
道外	16	26.7%	12	22.2%	28	24.6%
不明	3	5.0%	5	9.3%	8	7.0%
計	60	100.0%	54	100.0%	114	100.0%

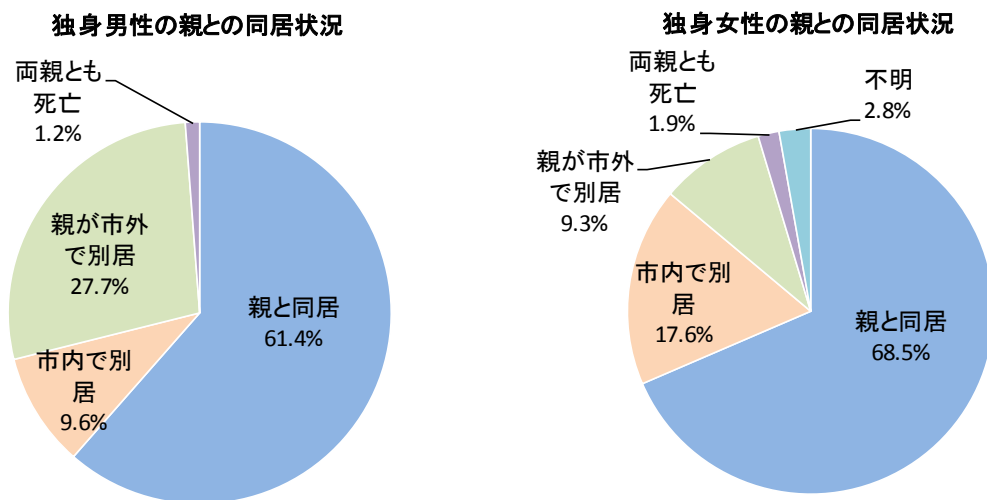
既婚者の根室市転入前の居住地

	男性		女性		計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
中標津町	2	4.1%	3	2.8%	5	3.2%
別海町	1	2.0%	4	3.7%	5	3.2%
その他根室振興局管内	1	2.0%	1	0.9%	2	1.3%
釧路市	4	8.2%	18	16.8%	22	14.1%
札幌市	21	42.9%	31	29.0%	52	33.3%
その他道内	10	20.4%	33	30.8%	43	27.6%
道外	8	16.3%	16	15.0%	24	15.4%
不明	2	4.1%	1	0.9%	3	1.9%
計	49	100.0%	107	100.0%	156	100.0%

<独身者集計>

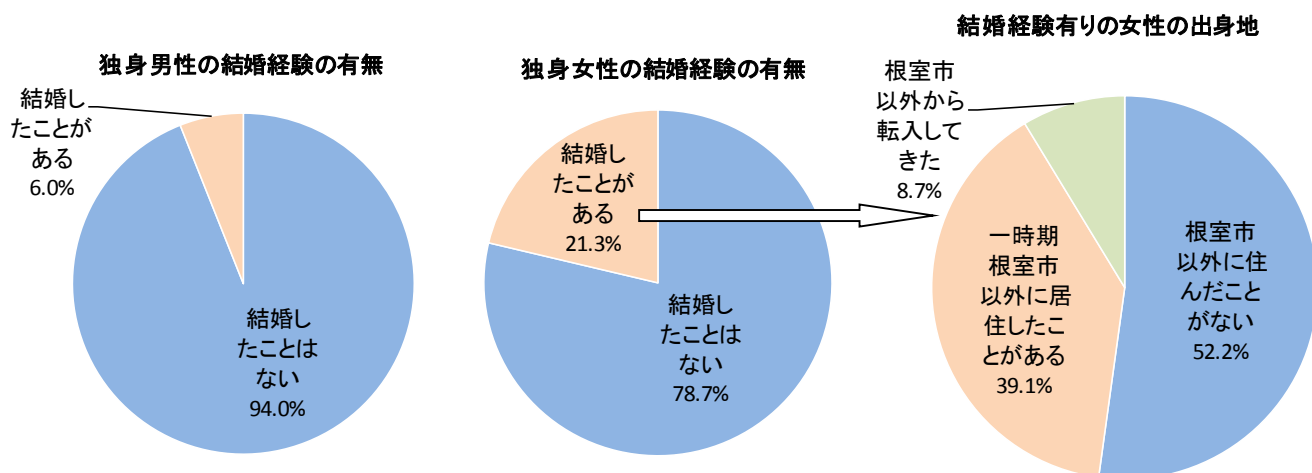
⑤親との同居状況

独身者の親との同居状況をみると、独身者の根室市出身者の割合が高いことを反映して、同居の割合が男女ともに高い。



⑥結婚経験

結婚経験者の割合は女性で高くなっており、そのうちの4割が一時期根室市外で居住し、離婚等により根室市に戻ってきているという状況となっている。



⑦結婚経験者の同居子どもの有無

結婚経験のある女性の 7 割近くが同居している子どもがいる状況となっている。

	男性		女性		計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
子どもはいない	3	60.0%	5	21.7%	8	28.6%
同居している子どもがいる	1	20.0%	16	69.6%	17	60.7%
子どもはいるが、同居はしていない	1	20.0%	1	4.3%	2	7.1%
不明	0	0.0%	1	4.3%	1	3.6%
計	5	100.0%	23	100.0%	28	100.0%

⑧独身でいる理由（複数回答）

独身でいる理由を、最大の理由から 3 番目の理由まで順位をつけて挙げてもらい、最大の理由を 3 点、2 番目の理由を 2 点、3 番目の理由を 1 点として平均得点を算出した。

仮に全員が 3 番目の理由にある項目を選択した場合には、平均得点が 1 点となり、平均得点が 1 点以上の場合には、「最大の理由」あるいは「2 番目の理由」に挙げている割合が高いことを示す。

この結果、独身でいる理由は、男女ともに「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最も多くなっている。

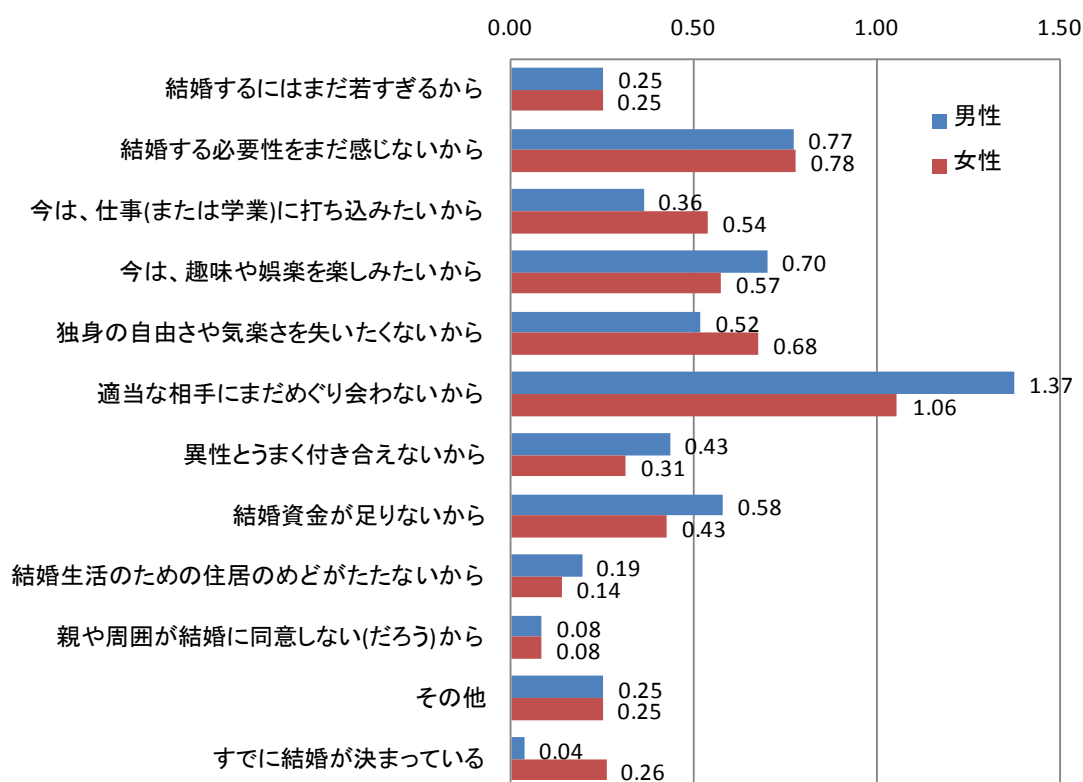
一方、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」、「結婚する必要性をまだ感じないから」、「独身の自由さ気楽さを失いたくないから」といった積極的に独身でいるという理由も、男女ともに多い。

独身でいる理由(平均得点)

最大の理由:3点

2番目の理由:2点

3番目の理由:1点



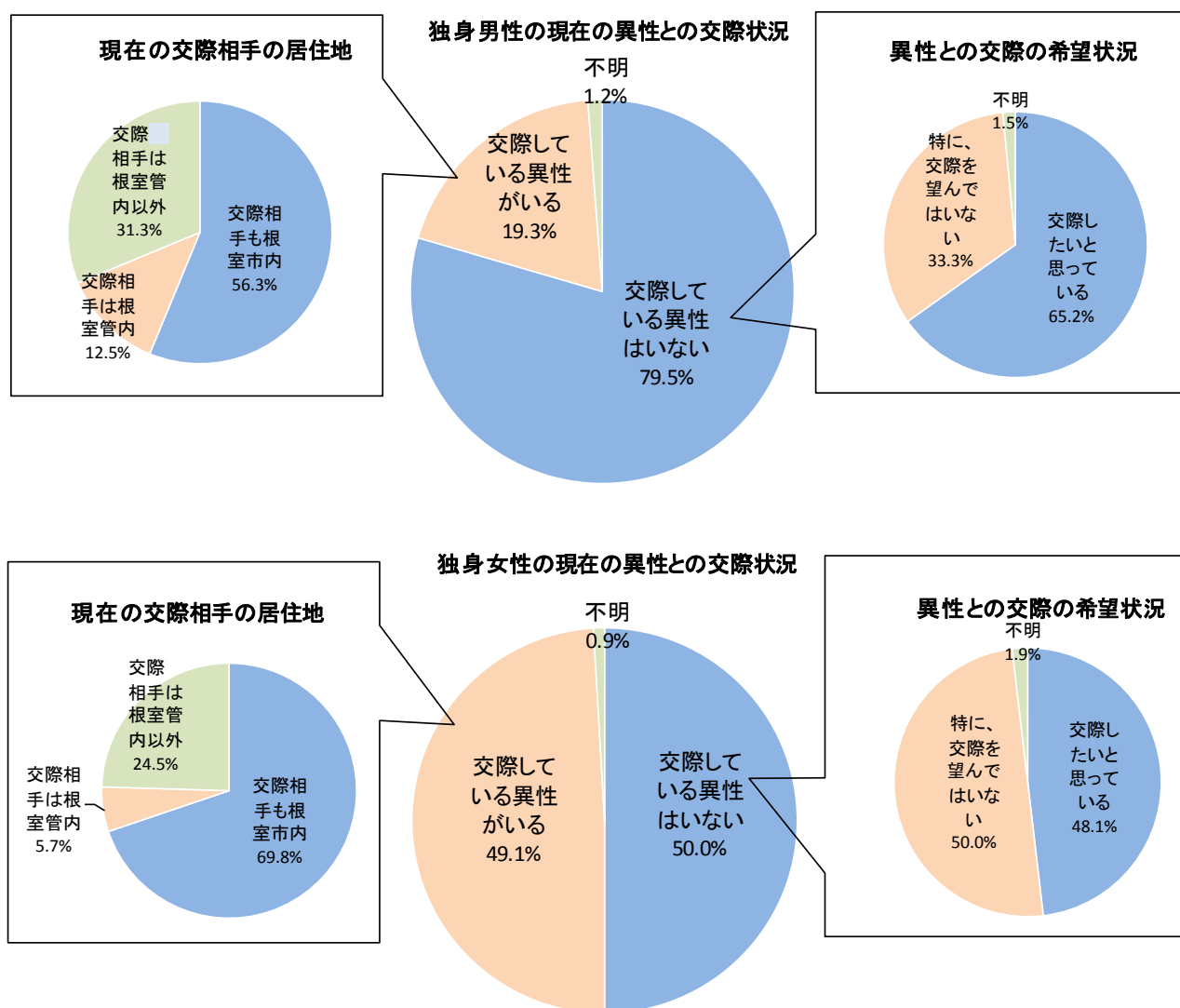
⑨現在の交際相手の有無

現在、交際相手がいないとする割合は、特に男性で高く 79.5%を占めている。そのうち、65.2%が、異性との交際を希望している状況が把握された。

また、現在の交際相手は、男性では市内居住者が 56.3%、根室管内居住者が 12.5%と 7 割近くが市内もしくは近隣の異性と交際している状況が把握された。

一方、女性は、現在、交際相手がいないとする割合は、男性よりも低く、50.0%であり、そのうちの 48.1%が異性との交際を希望している状況である。

また、現在の交際相手は、男性と同様に根室市内居住者が多く、69.8%となっている。

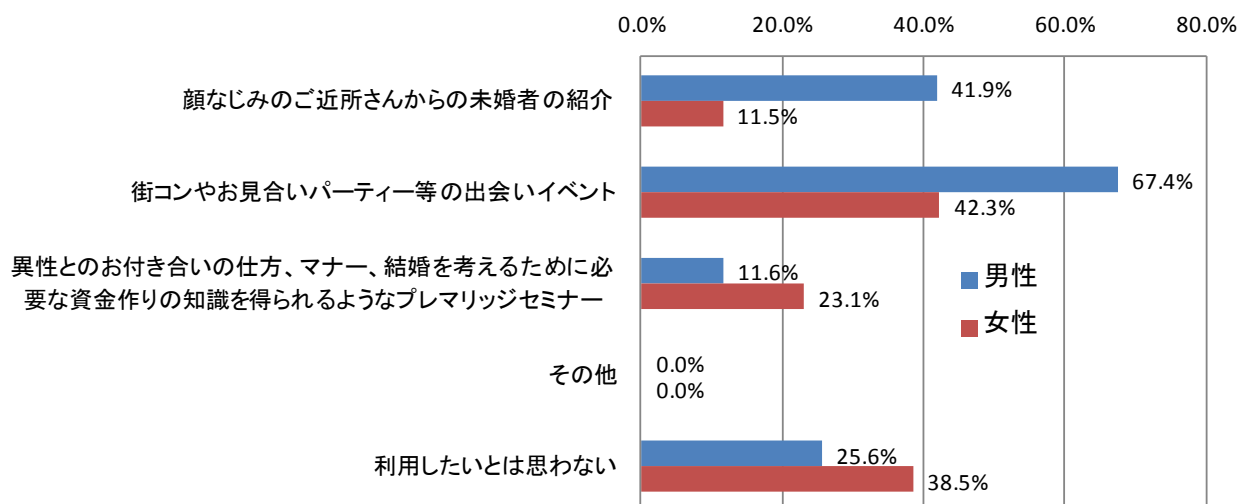


⑩異性との交際を希望している独身者が希望している出会い支援

交際を希望している独身者が希望する出会い支援としては、男女ともに「街コンやお見合いパーティー等の出会いイベント」が最も多くなっており、特に、男性では7割近くが希望している状況となっている。

一方、女性では、「利用したいとは思わない」とする割合も高くなっている。

希望する交際支援



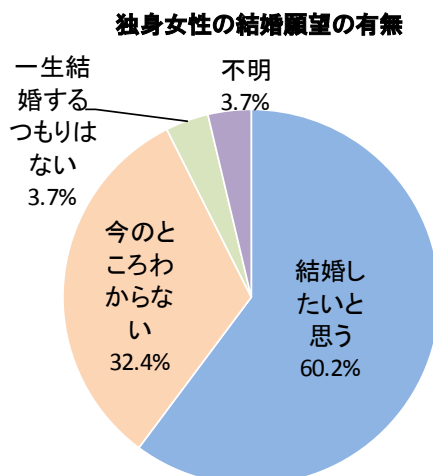
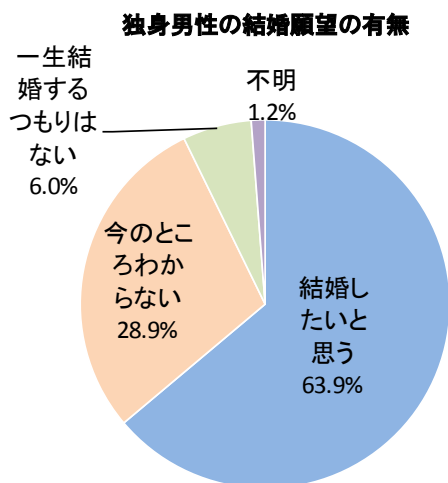
⑪現在、交際している独身者の出会いのきっかけ

現在、交際している独身者の出会いのきっかけは、「友人やきょうだいを通じて」が男女ともに多く、次いで「職場や仕事の関係で」となっている。

	男性		女性		計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
学校で	3	19%	4	8%	7	10%
職場や仕事の関係で	4	25%	10	19%	14	20%
アルバイト先で	1	6%	6	11%	7	10%
幼なじみ、隣人関係	0	0%	1	2%	1	1%
地域のサークル活動や習い事で	1	6%	5	9%	6	9%
友人やきょうだいを通じて	5	31%	17	32%	22	32%
見合いで	0	0%	0	0%	0	0%
結婚相談所で	0	0%	1	2%	1	1%
インターネットで	1	6%	3	6%	4	6%
婚活イベントで	0	0%	0	0%	0	0%
地域のイベントで	0	0%	1	2%	1	1%
街なかや旅先で	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	2	4%	2	3%
不明	1	6%	3	6%	4	6%
計	16	100%	53	100%	69	100%

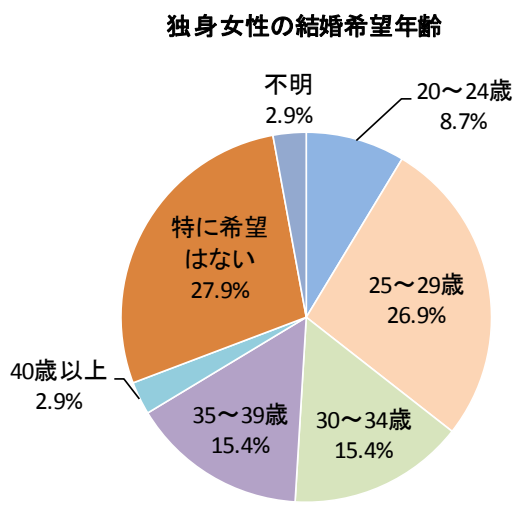
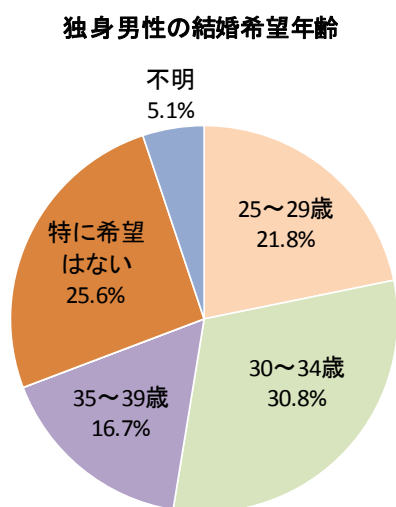
⑫結婚願望について

将来、いずれは結婚したいと思っている独身者は、男女ともに6割強となっている。



⑬結婚希望年齢

将来結婚する上で、希望する結婚年齢は、男性は30～34歳が30.8%と最も多く、次いで、「特に希望はない」、25～29歳となっている。女性は、「特に希望はない」が最も多く、次いで、「25～29歳」となっている。

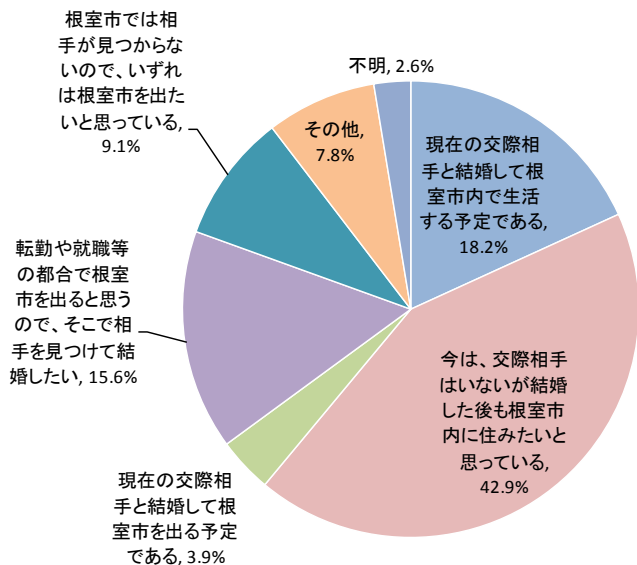


⑭根室市内での結婚について

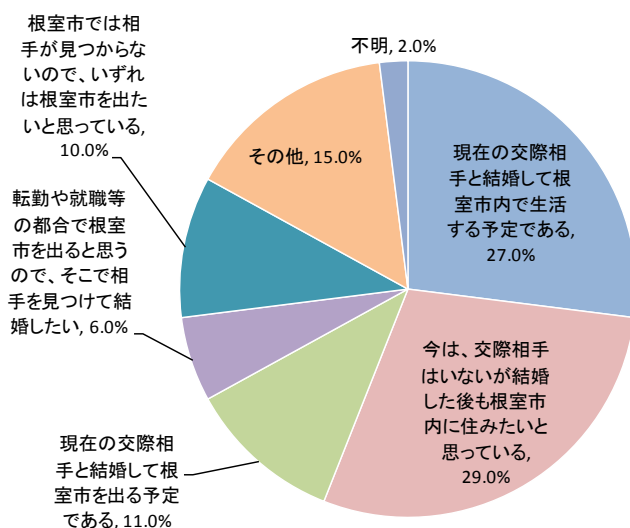
結婚した後も根室市内で居住したいかどうかについては、すでに、根室市内で結婚して居住する予定であるとする独身者は、男性で18.2%、女性で27.0%となっているほか、結婚後も根室市で住みたいとの回答は、男性で42.9%、女性で29.0%となっており、全体としては、根室市内で居住したいという意向をもっている状況が把握された。

一方、根室市内で結婚相手が見つからないので根室市を出たいとする回答も男女とも約1割となっている。

根室市内での結婚について(男性)



根室市内での結婚について(女性)



⑮根室市内での結婚に対して不安に思うこと

根室市内での結婚に対して不安に思っていることを、最大の不安から2番目の不安まで順位をつけて挙げてもらい、最大の不安を2点、2番目の不安を1点として平均得点を算出した。

仮に全員が2番目の理由にある項目を選択した場合には、平均得点が1点となり、平均得点が1点以上もしくは1点に近いほど「最大の不安」に挙げている割合が高いことを示す。

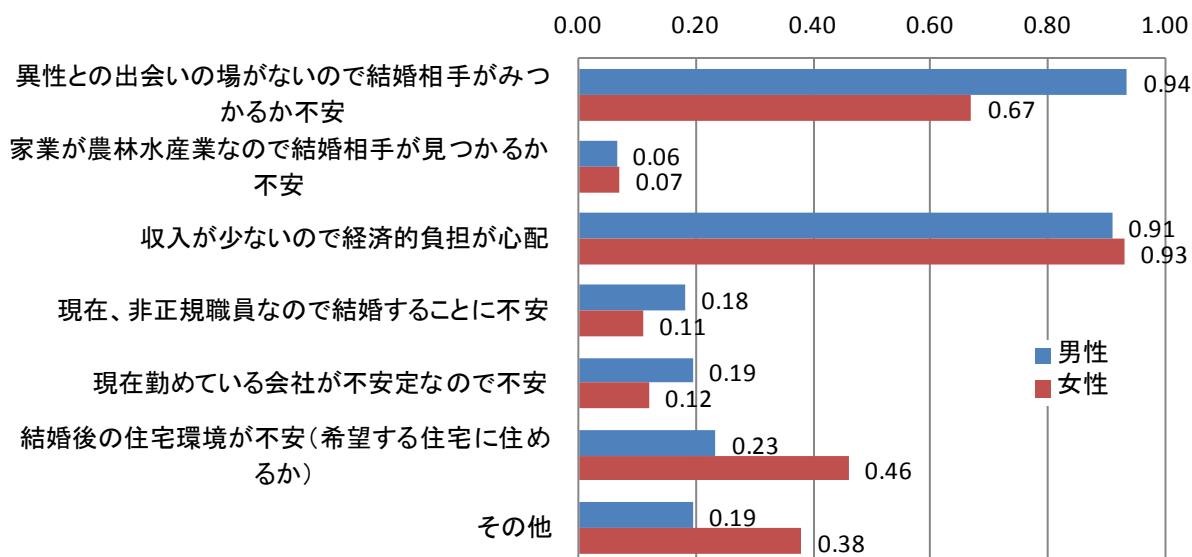
根室市内での結婚について不安に思っている内容をみると、男性では、最大の理由として「異性との出会いの場がないので結婚相手がみつかるか不安」が最も点数が高く、次いで、「収入が少ないので経済的負担が心配」、女性では、「収入が少ないので経済的負担が心配」が最も多く、次いで、「異性との出会いの場がないので結婚相手がみつかるか不安」となっている。

なお、女性の「その他」が比較的点数が高くなっているが、その具体的不安としては、市内で出産ができないことに対する不安があげられている。

根室市での結婚に関して不安に感じていること(平均得点)

最大の不安:2点

2番目の不安:1点



⑩将来の子ども数について

将来、結婚した後に持ちたいと思う理想の子ども数についてみると、平均で 2.31 人、これに対して現実には持つと思う子どもの数は、1.54 人となっている。

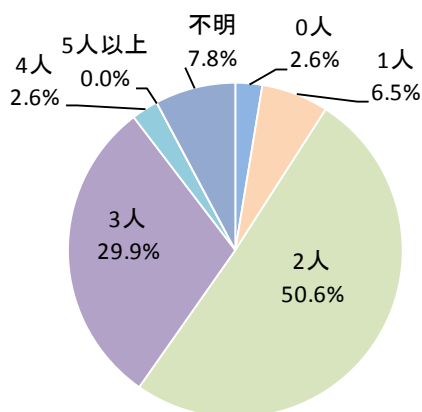
この認識は、男女とも大きな差はなく、理想の数に対して現実の数は、「1 人」が多くなり、「3 人」が少なくなっている。

将来、理想の子ども数を持たないと思っている割合は、女性の方が高く 5 割。

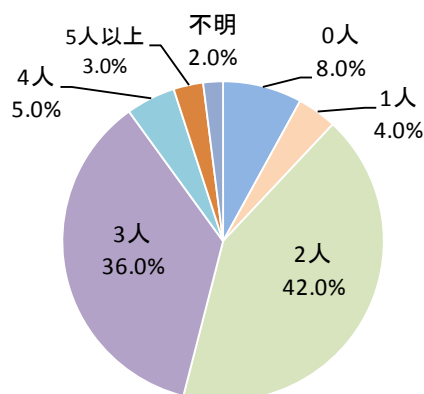
	男性	女性	全体
理想の子ども数の平均(人)	2.25	2.36	2.31
現実には持つと思う子どもの数の平均(人)	1.53	1.55	1.54

	男性		女性		計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
理想の子ども数を持たない	36	46.8%	51	51.0%	87	49.2%
理想の子ども数を持つ	29	37.7%	30	30.0%	59	33.3%
不明	12	15.6%	19	19.0%	31	17.5%
計	77	100.0%	100	100.0%	177	100.0%

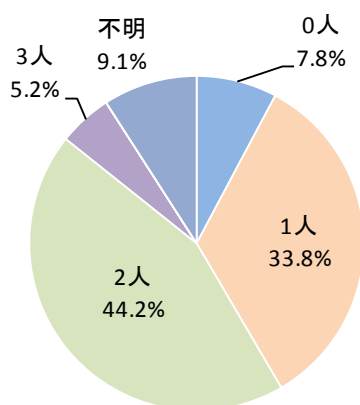
将来持ちたいと思う理想的な子どもの数(男性)



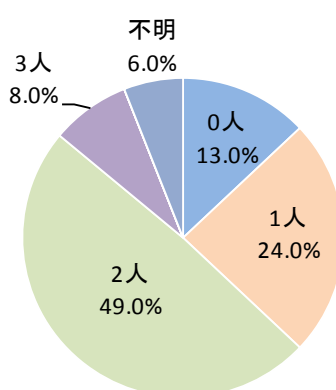
将来持ちたいと思う理想的な子どもの数(女性)



将来持てると思う現実的な子どもの数(男性)



将来持てると思う現実的な子どもの数(女性)



⑰理想の子ども数を持てないと思う理由

理想の子ども数を持てないと思う理由を、最大の理由から3番目の理由まで順位をつけて挙げてもらい、最大の理由を3点、2番目の理由を2点、3番目の理由を1点として平均得点を算出した。

仮に全員が3番目の理由にある項目を選択した場合には、平均得点が1点となり、平均得点が1点以上の場合には、「最大の理由」あるいは「2番目の理由」に挙げている割合が高いことを示す。

理想の子ども数を持てないと思う理由としては、男性では、「出産費用等の経済的負担が大きいから」が最も得点が高く、女性では、「仕事と子育ての両立が難しいから」が最も高い。

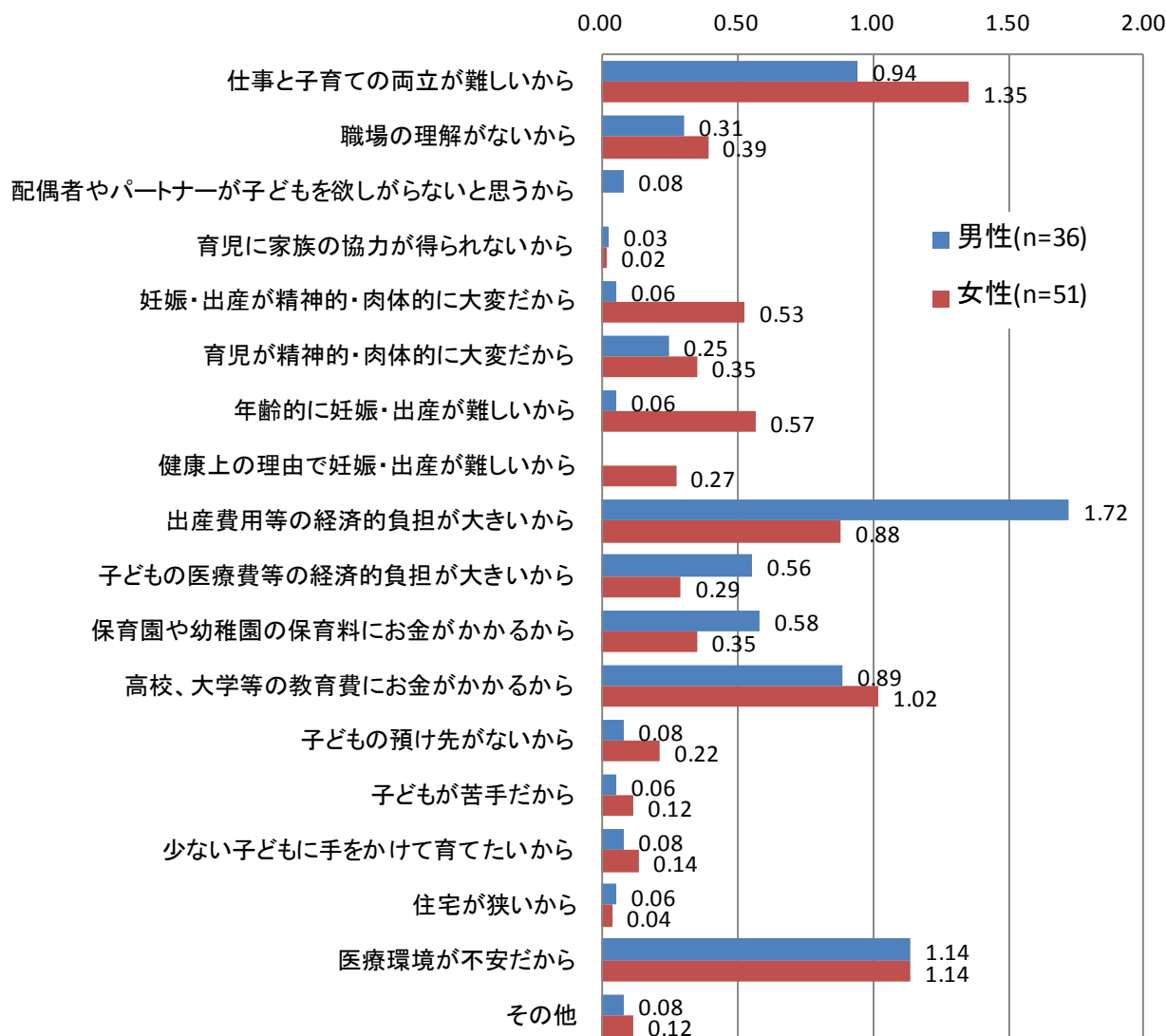
次いで、男性では「医療環境が不安だから」が多いほか、教育費等の経済的不安を、女性では「医療環境が不安だから」や教育費のほか、精神的、肉体的不安が大きい状況が伺える。

理想の子ども数を持てないと思う理由(平均得点)

最大の理由:3点

2番目の理由:2点

3番目の理由:1点



⑩出産、子育てに関して望まれている支援（複数回答）

結婚するつもりはないと回答した独身者を除く男女が、将来の出産、子育てに関して期待している支援内容をみると、男女とも「医療環境の充実」が最も得点が高く、次いで、「子育て世帯への経済的支援の充実」となっている。

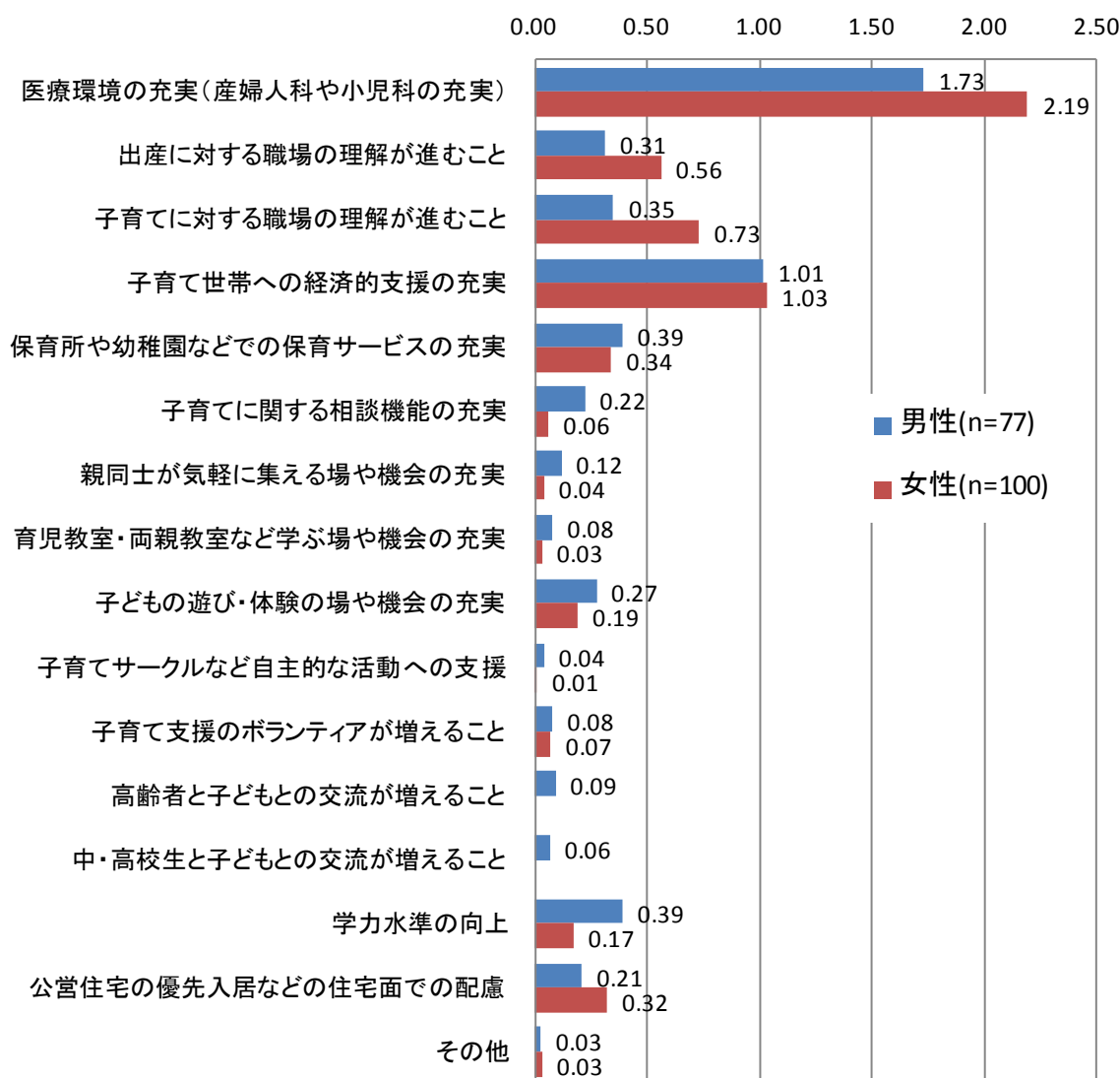
女性では、出産や子育てに対する職場の理解が進むことに対する要望も高くなっている。

出産、子育てに関して望まれている支援（平均得点）

最大の希望:3点

2番目の希望:2点

3番目の希望:1点

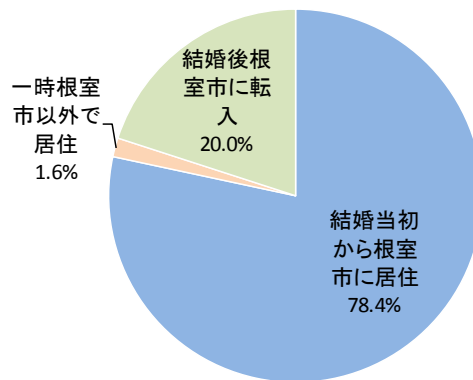


<既婚者>

⑱結婚後の根室市での居住状況

既婚者の結婚後の根室市での居住状況をみると、78.4%が結婚当初から根室市で居住しており、結婚後に転勤等で転入してきたとする割合は20.0%となっている。この傾向は男女で大きな差はない。

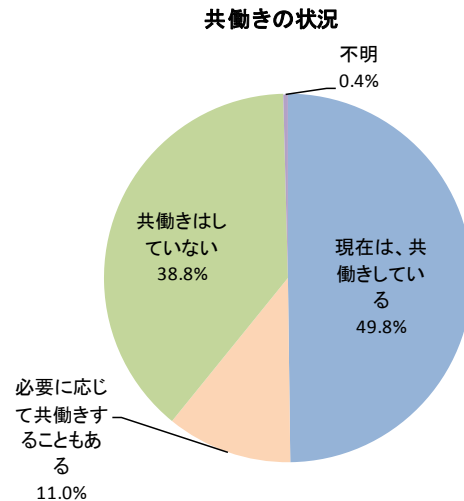
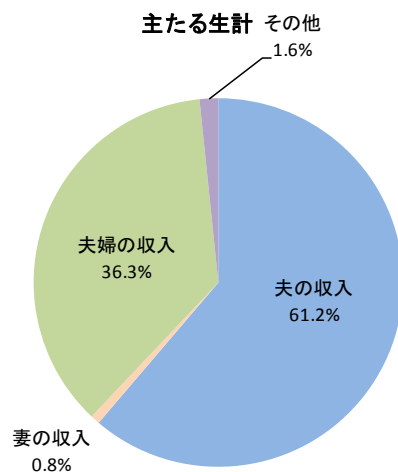
既婚者の結婚後の根室市での居住状況



㉑主たる生計及び共働きの状況

既婚者の主たる生計は夫で61.2%となっている半面、夫婦の収入との回答も36.3%となっている。

また、共働きの状況をみると、半数が共働きとなっており、1割が必要に応じて共働きをしている状況となっている。



㉒親との同居状況

親との同居状況については、回答者の多くが根室市出身であることから、自身の親及び配偶者の親とも、市内で別居が最も多い。

自身の親との同居状況

	件数	構成比
親と同居	22	9.0%
市内で別居	145	59.2%
親が市外で別居	71	29.0%
両親とも死亡	6	2.4%
不明	1	0.4%
計	245	100.0%

配偶者の親との同居状況

	件数	構成比
親と同居	25	10.2%
市内で別居	144	58.8%
親が市外で別居	68	27.8%
両親とも死亡	5	2.0%
不明	3	1.2%
計	245	100.0%

⑫夫婦が知り合ったきっかけ

夫婦が知り合ったきっかけは、独身者と同様に、「友人やきょうだいを通じて」が最も多く、次いで、「職場や仕事の関係で」となっている。

夫婦が知り合ったきっかけ

	件数	構成比
学校で	37	15.1%
職場や仕事の関係で	61	24.9%
アルバイト先で	15	6.1%
幼なじみ、隣人関係	7	2.9%
地域のサークル活動や習い	7	2.9%
友人やきょうだいを通じて	81	33.1%
見合いで	2	0.8%
結婚相談所で	0	0.0%
インターネットで	7	2.9%
婚活イベントで	0	0.0%
地域のイベントで	5	2.0%
街なかや旅先で	16	6.5%
その他	6	2.4%
不明	1	0.4%
計	245	100.0%

⑬結婚を決めた理由

既婚者の結婚を決めた理由を、最大の理由から3番目の理由まで順位をつけて挙げてもらい、最大の理由を3点、2番目の理由を2点、3番目の理由を1点として平均得点を算出した。

仮に全員が3番目の理由にある項目を選択した場合には、平均得点が1点となり、平均得点が1点以上の場合には、「最大の理由」あるいは「2番目の理由」に挙げている割合が高いことを示す。

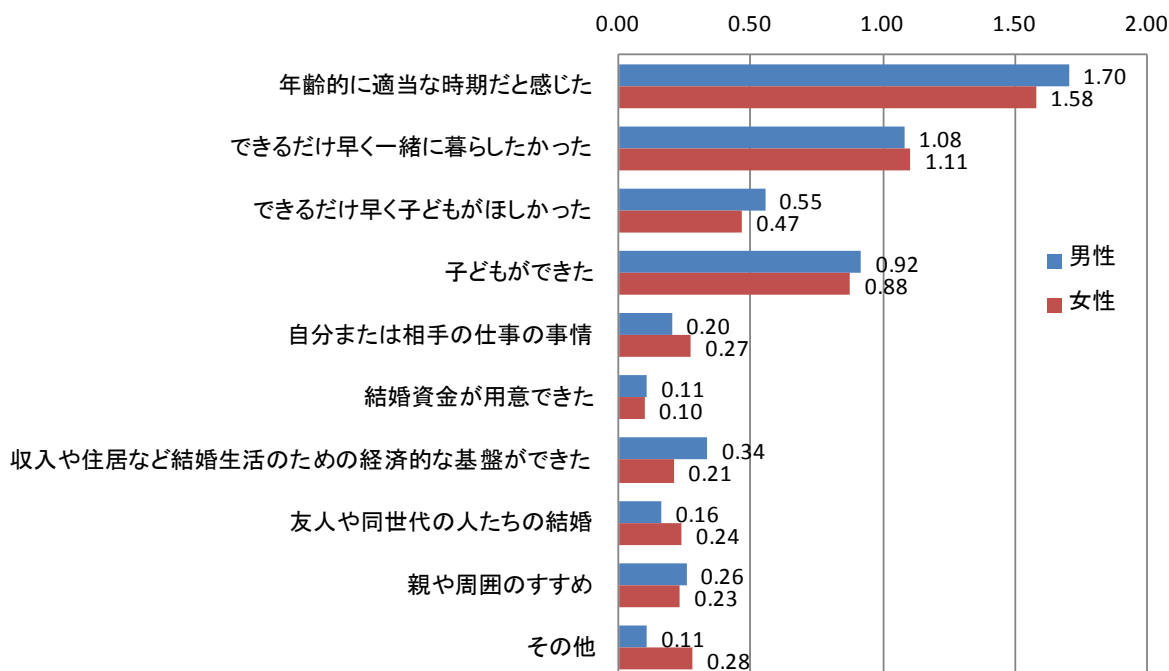
この結果、主たる理由としては「年齢的に適当な時期だと感じた」、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」、「子どもができた」となっており、男女ともほぼ同様の傾向となっている。

結婚を決めた理由(平均得点)

最大の理由:3点

2番目の理由:2点

3番目の理由:1点

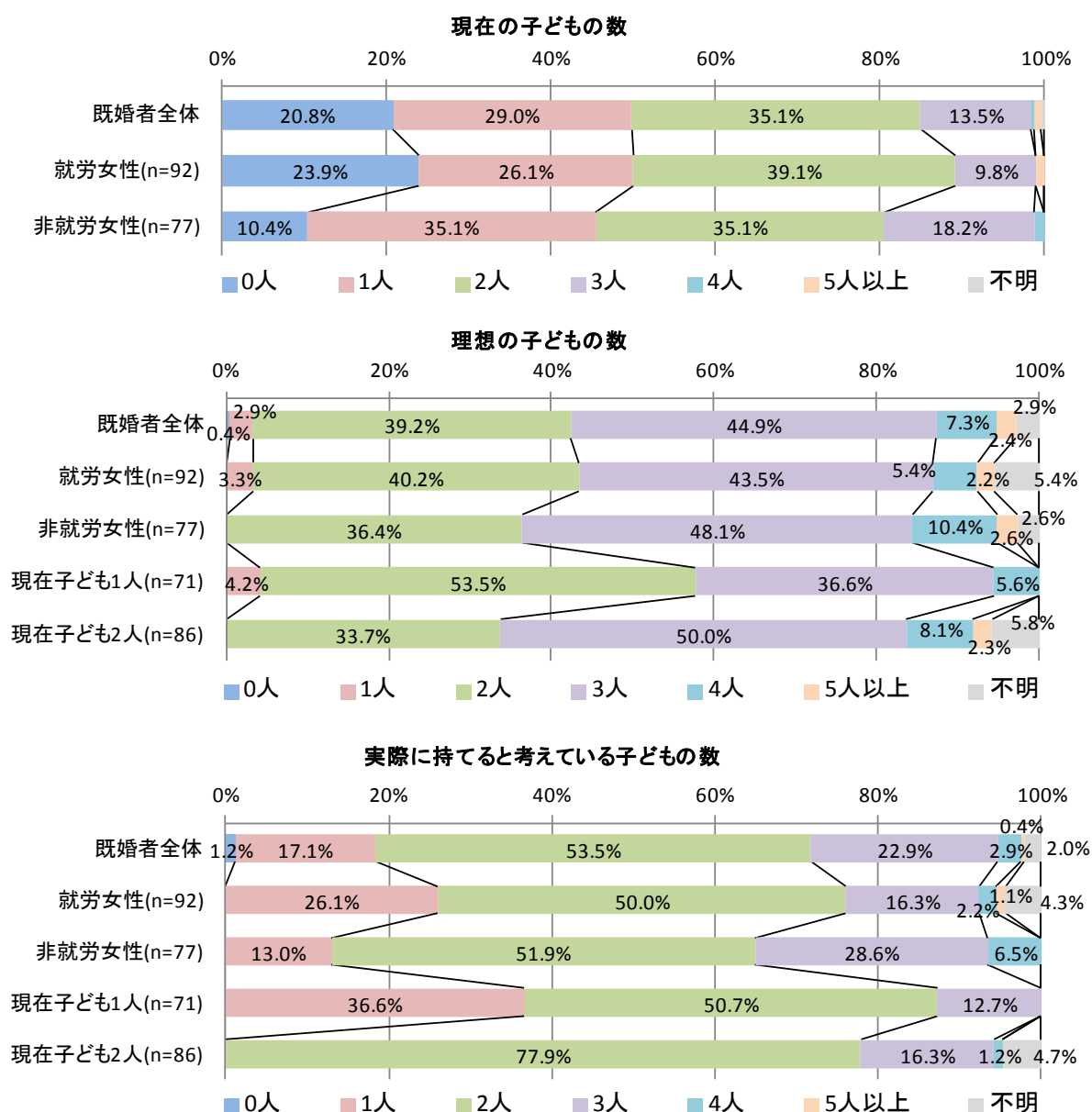


④子どもの数について

既婚者における現在の子ども数についてみると、総じて2人及び1人が多くなっている。この現在の子ども数を就労女性と非就労女性で比較すると、就労女性では、0人の割合が、非就労女性では3人の割合が比較的高くなっている。

理想の子ども数についてみると、総じて3人が最も多く、次いで、2人となっている。現在すでに1人の子どもを有しているところと、2人の子どもを有しているところとみると、1人を有しているところでは、理想の子ども数は2人をあげているところが半数以上となっている。

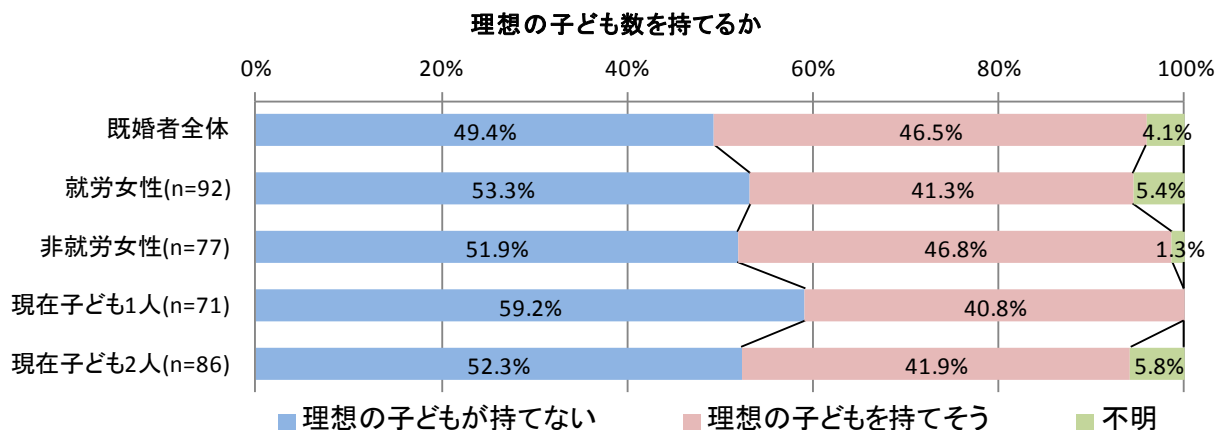
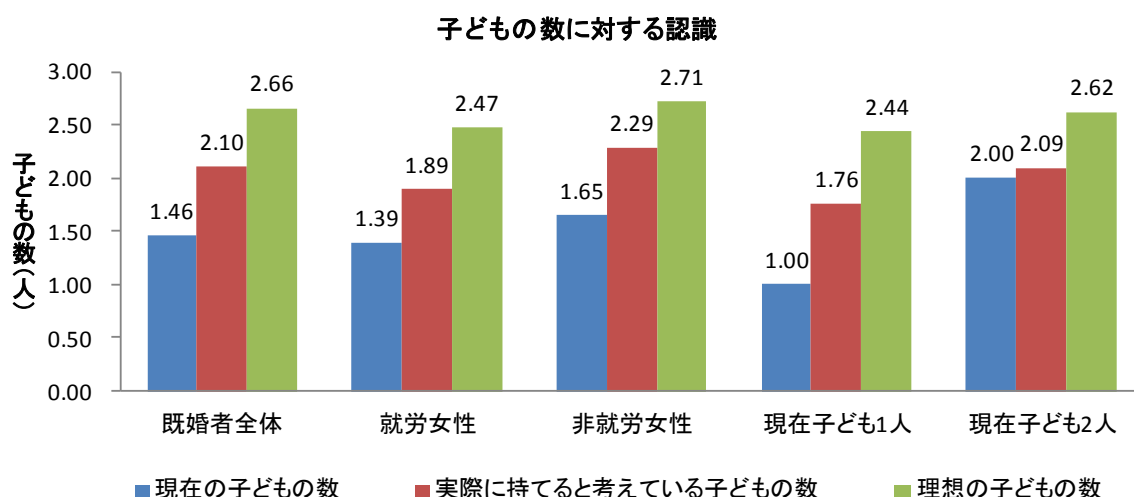
理想の子ども数に対して、実際に持てると考えている子ども数についてみると、2人が最も多くなっているものの、就労女性やすでに1人の子どもを有しているところでは、1人とする割合も高くなっている。



平均の子ども数でみると、既婚者全体では、理想の子ども数は、2.66人、これに対して、現在の子ども数の平均は1.46人、実際に持てると考えている子ども数の平均は2.10人となっているが、就労女性についてみると、理想が2.47人、実際に持てる子ども数が1.89人（現在が1.39人）となっていることに対し、非就労女性では、理想、実際に持てる数、現在の数とも就労女性よりも多くなっている。

現在の子ども数が1人のところと、2人のところでは、実際に持てる子ども数の数、理想の子ども数の数とも、現在子ども2人いる方が多くなっている。

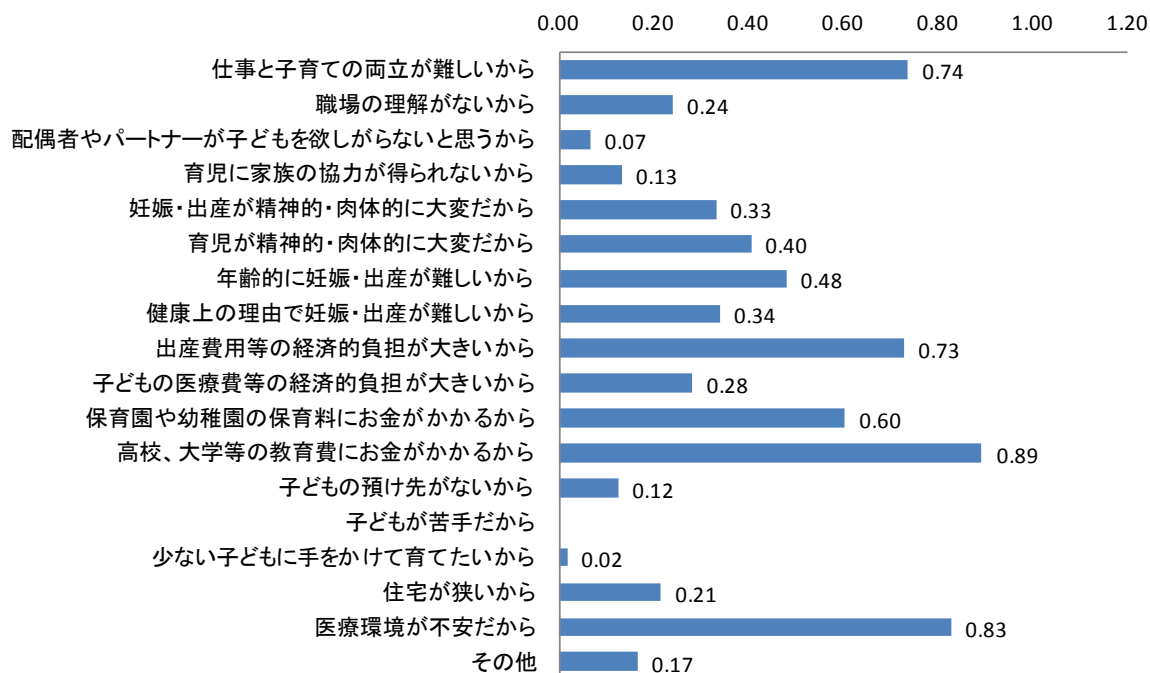
また、理想の子ども数を持たないとの回答割合は、概ね約半数となっているが、就労女性及びすでに1人の子どもを有しているところでは、ややこの割合が高い傾向となっている。



㊤理想の子ども数を持てないと思う理由

理想の子ども数を持てないと思う理由について、最大の理由を3点、2番目の理由を2点、3番目の理由を1点として、平均点を求めた結果、既婚者全体では、「高校、大学等の教育費にお金がかかるから」が最も大きく、次いで、「医療環境が不安だから」となっている。これに次いで、「仕事と子育ての両立が難しいから」、「出産費用等の経済的負担が大きいため」といった理由となっている。

理想の子ども数を持てないと思う理由（既婚者全体）



さらに、現在、働いている女性（就労女性）と働いていない女性（非就労女性）についてみると、最も大きな違いがみられたのが、「仕事と子育ての両立が難しいから」であり、就労女性の理由の中で最も大きくなっている。就労女性の理由としては、次いで「高校、大学等の教育費にお金がかかるから」、「医療環境が不安だから」となっている。

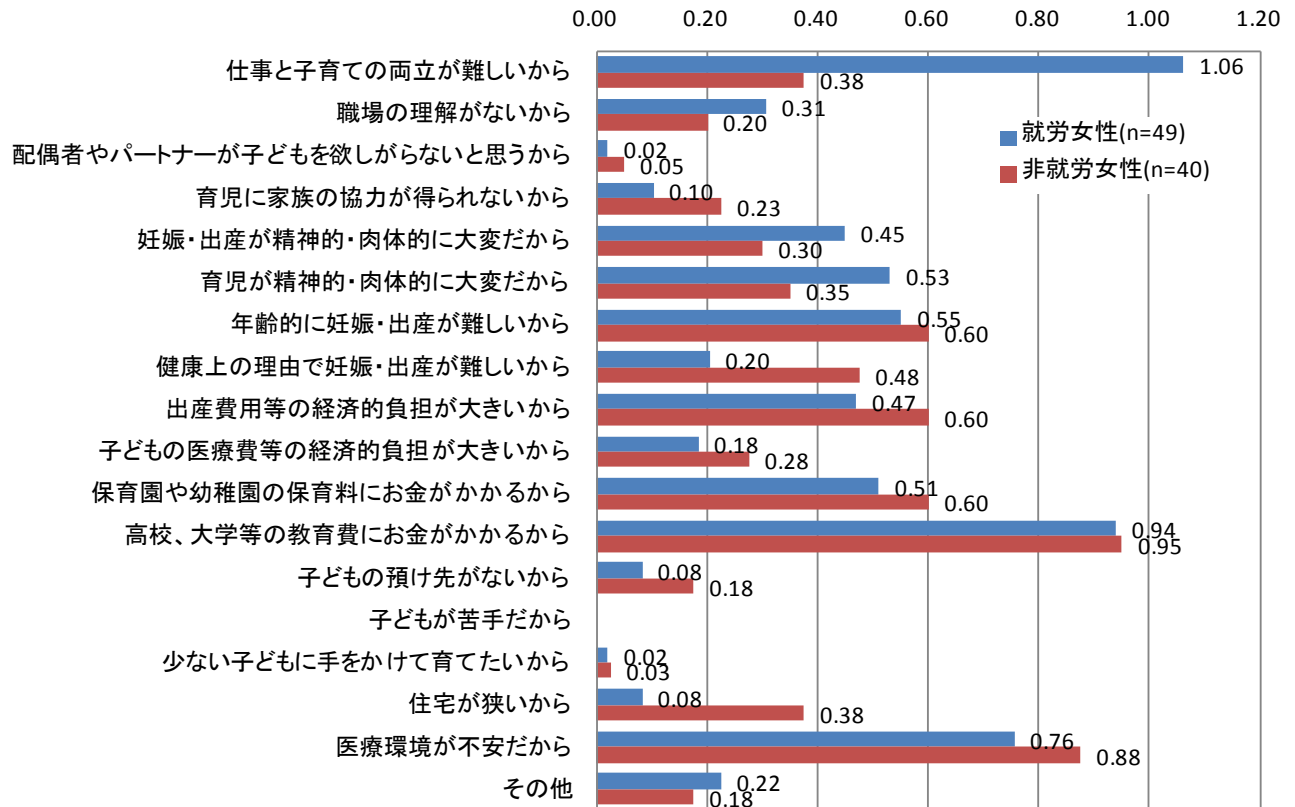
非就労女性の理由としては、「高校、大学等の教育費にお金がかかるから」が最も大きく、次いで、「医療環境が不安だから」となっている。

就労女性と非就労女性の理由を概観すると、就労女性では、体力面や精神面での大変さが、非就労女性では、経済的な大変さが挙げられている。

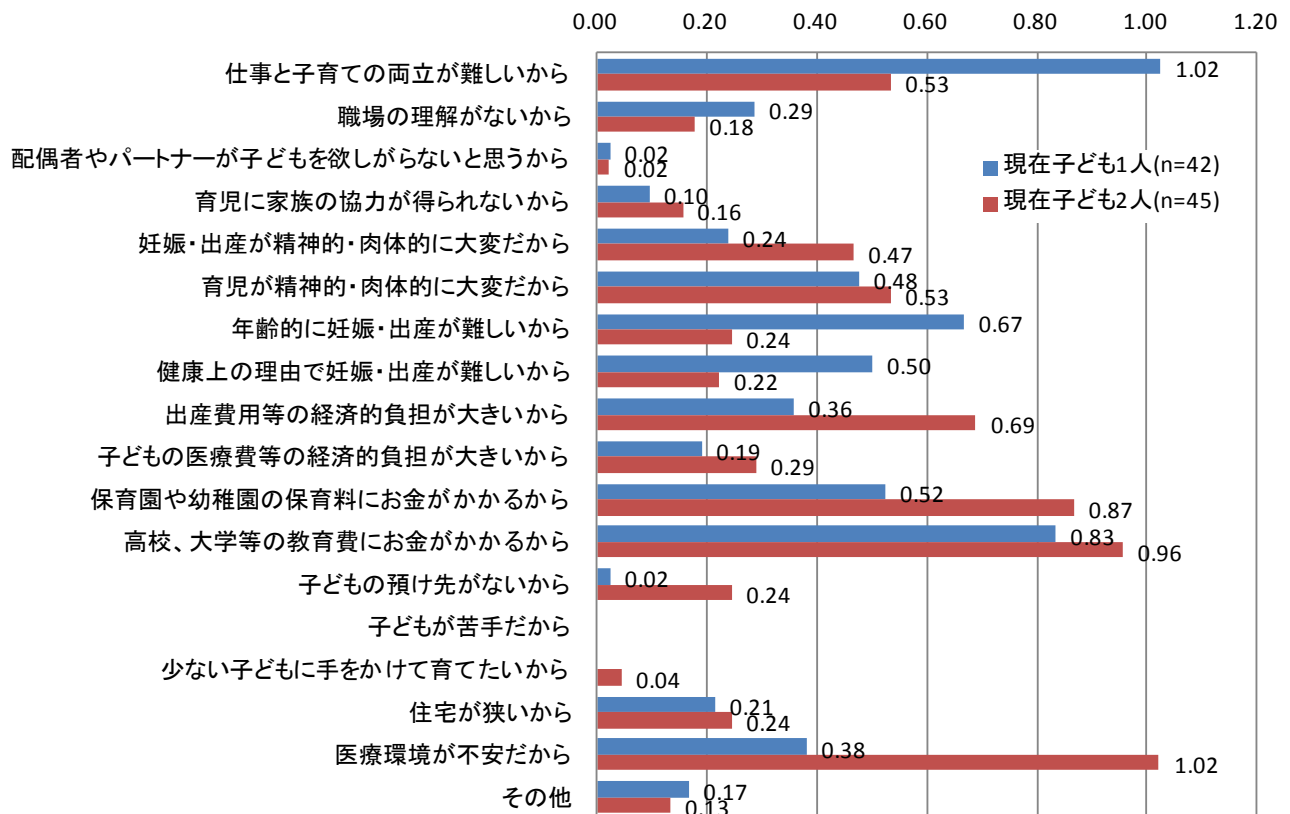
一方、すでに子どもを持っている既婚者（男女含む）のうち、子どもが1人の場合と2人の場合についてみると、1人の場合の理想の子ども数を持てない理由としては、「仕事と子育ての両立が難しいから」が最も大きく、次いで、「高校、大学等の教育費にお金がかかるから」、「年齢的に妊娠・出産が難しいから」となっている。

2人の場合では、「医療環境が不安だから」が最も大きく、次いで、「高校、大学等の教育費にお金がかかるから」、「保育園や幼稚園の保育料にお金がかかるから」といった経済的理由が続いている。

理想の子ども数を持てないと思う理由(就労女性と非就労女性)



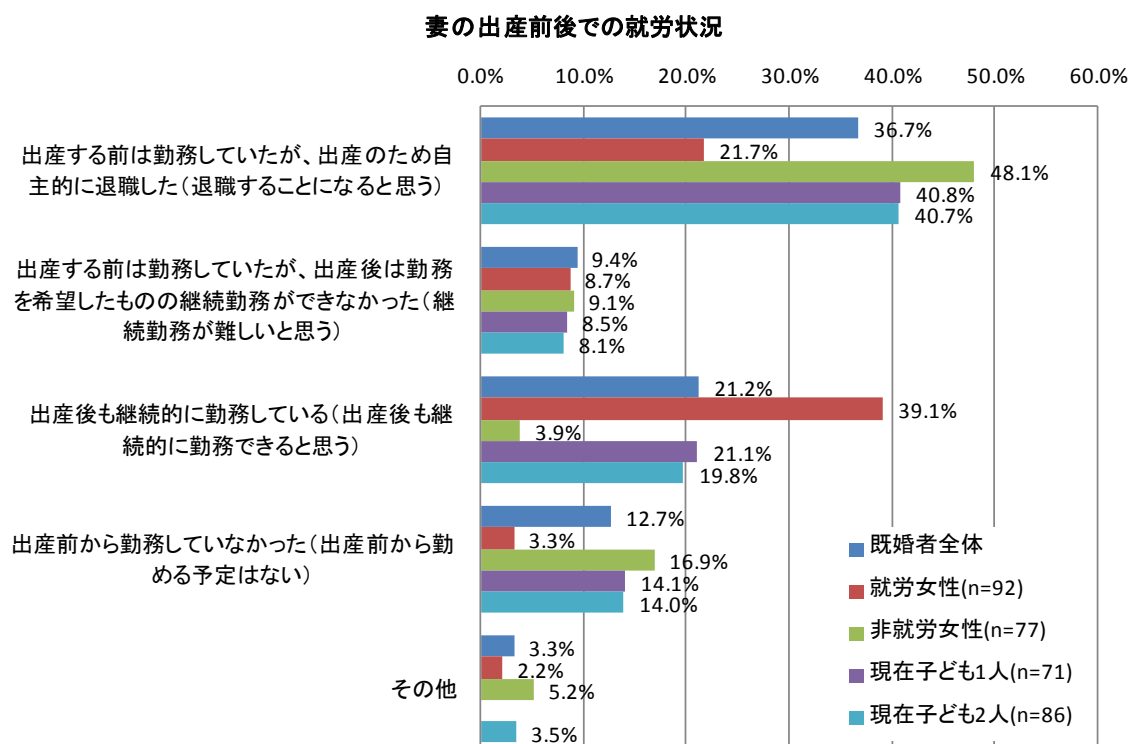
理想の子ども数を持てないと思う理由(現在の子どもの数が1人と2人)



㊤妻の出産前後での就業状況

妻の出産前後での就労状況についてみると、既婚者全体では、「出産時に自主的に退職した」が36.7%で最も多く、次いで、「出産後も継続して勤務している」が21.2%となっており、「出産後も勤務を希望したものの継続勤務ができなかった（難しいと思う）」との回答割合は9.4%にとどまっている。

就労女性と非就労女性についてみると、非就労女性では、「出産時に自主的に退職した」及び「出産前から勤務していなかった」が多くなっているが、就労女性では、「出産後も継続して勤務している」が4割弱と最も多くなっている。



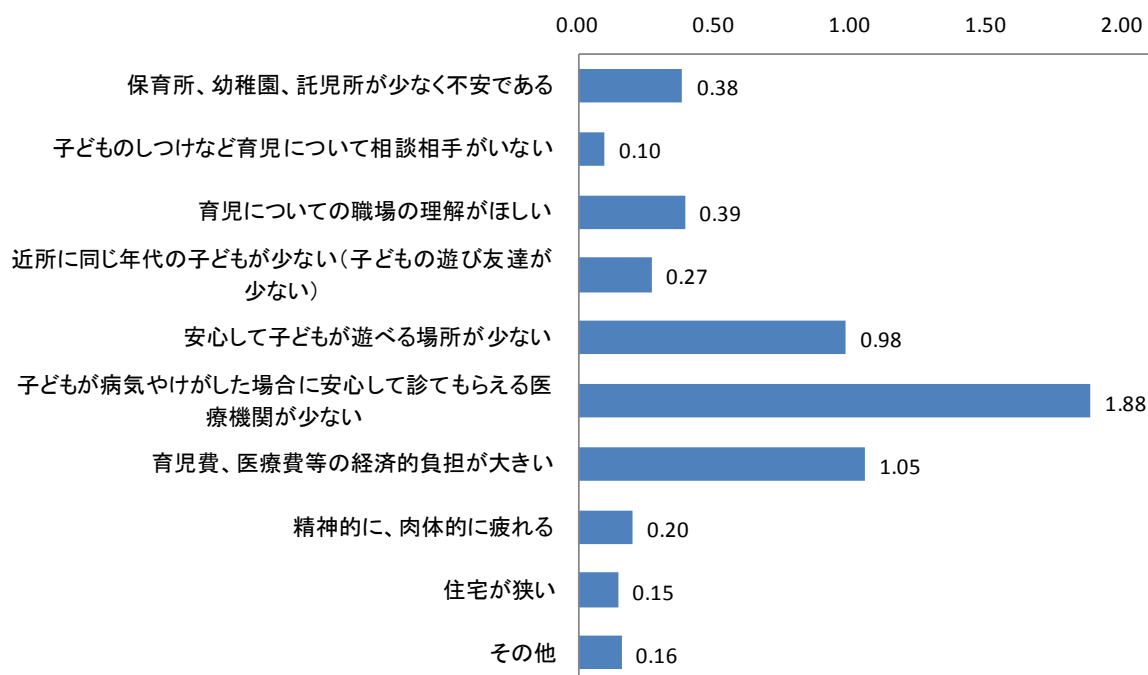
㊦根室市内の育児環境で不安を感じていることについて

根室市内の育児環境における不安を、最大の不安から3番目の不安まで順に回答いただいたものを、最大の不安を3点、2番目の不安を2点、3番目の不安を1点として、平均得点を求めた。得点が高いほど、1点を超える幅が大きいほど、最大の不安あるいは2番目の不安の度合いが高いことを示す。

この結果、既婚者全体では、「子どもが病気やけがした場合に安心して診てもらえる医療機関が少ない」が最も大きくなっている。この医療面に対する不安は自由回答でも特に記載が多かった。

次いで、「育児費、医療費等の経済的負担が大きい」、「安心して子どもが遊べる場所が少ない」となっている。自由回答では、屋内で遊べる施設に対する要望が多かった。

根室市の育児環境で不安を感じていること(既婚者全体)(得点換算)

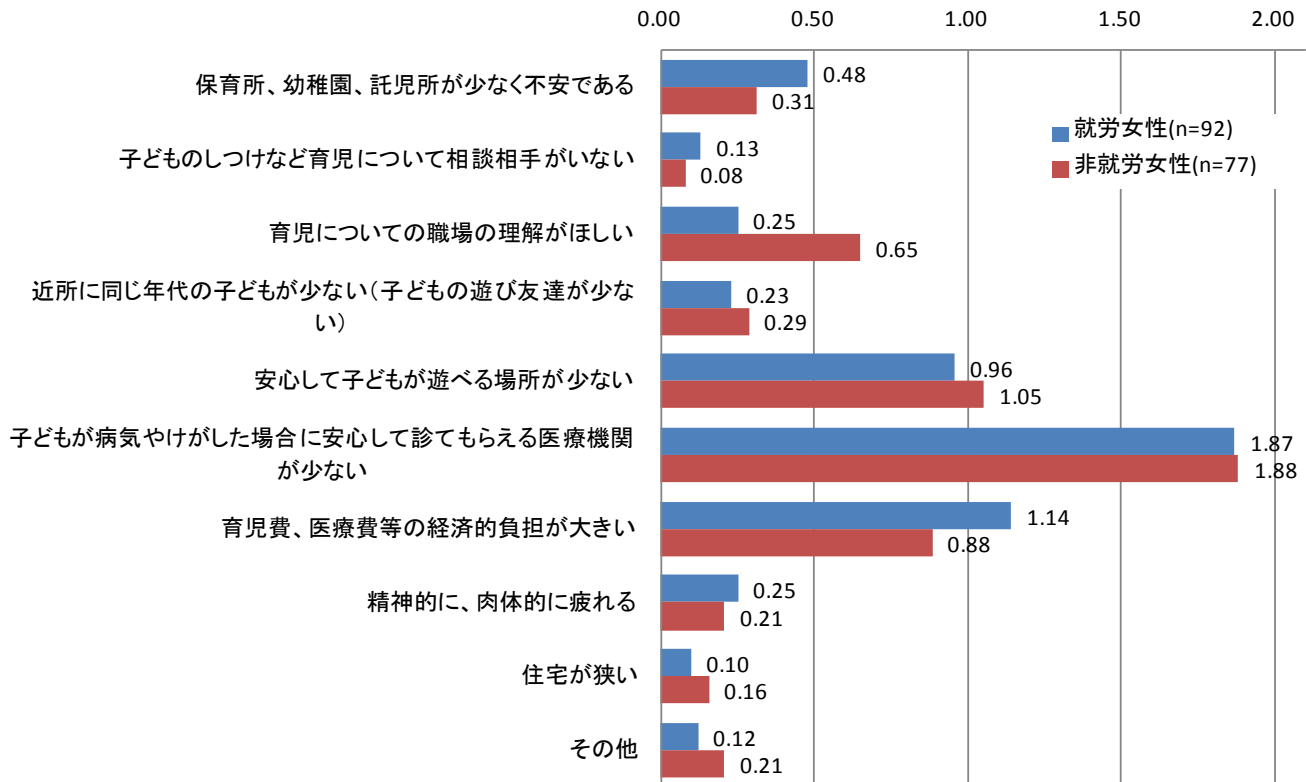


次に、就労女性と非就労女性で比較した結果、医療機関に対する不安は同程度となっているが、「育児費、医療費等の経済的負担が大きい」については、就労女性の方が不安感が強くなっているほか、「育児についての職場の理解がほしい」に関しては、非就労女性の方が大きいといった違いがみられた。

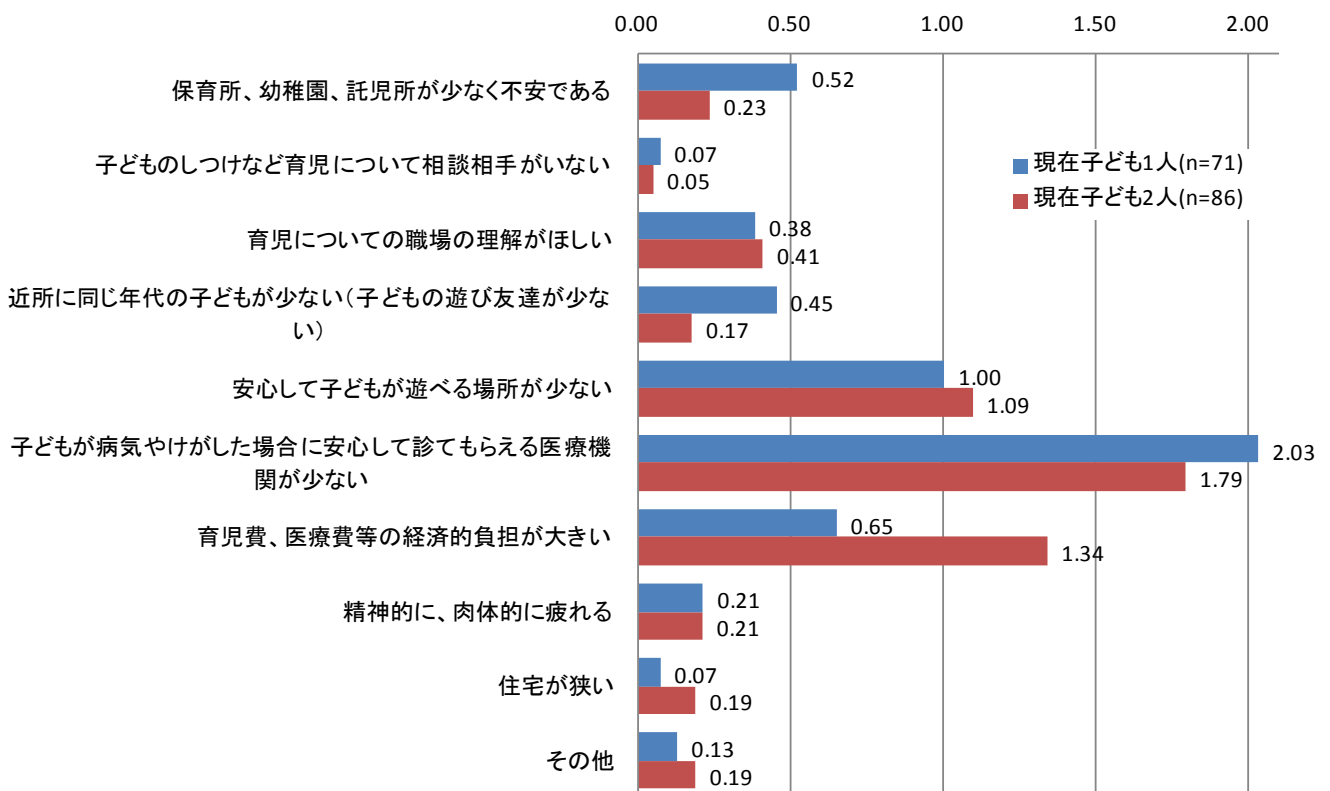
特に、非就労女性で「育児についての職場理解がほしい」が比較的大きくなっているのは、理想の子ども数が持てないとする理由で経済的理由が大きくなっていたことから、職場理解があれば就労したいという希望が多いとみられる。

さらに、すでに子どもが1人いるところと、2人いるところでの比較を行った結果、すでに2人の子どもの有しているところで、「育児費、医療費等の経済的負担」に対する不安が拡大している。

根室市の育児環境で不安と感じていること(就労女性と非就労女性)(得点換算)



根室市の育児環境で不安と感じていること(現在の子どもの数が1人と2人)(得点換算)

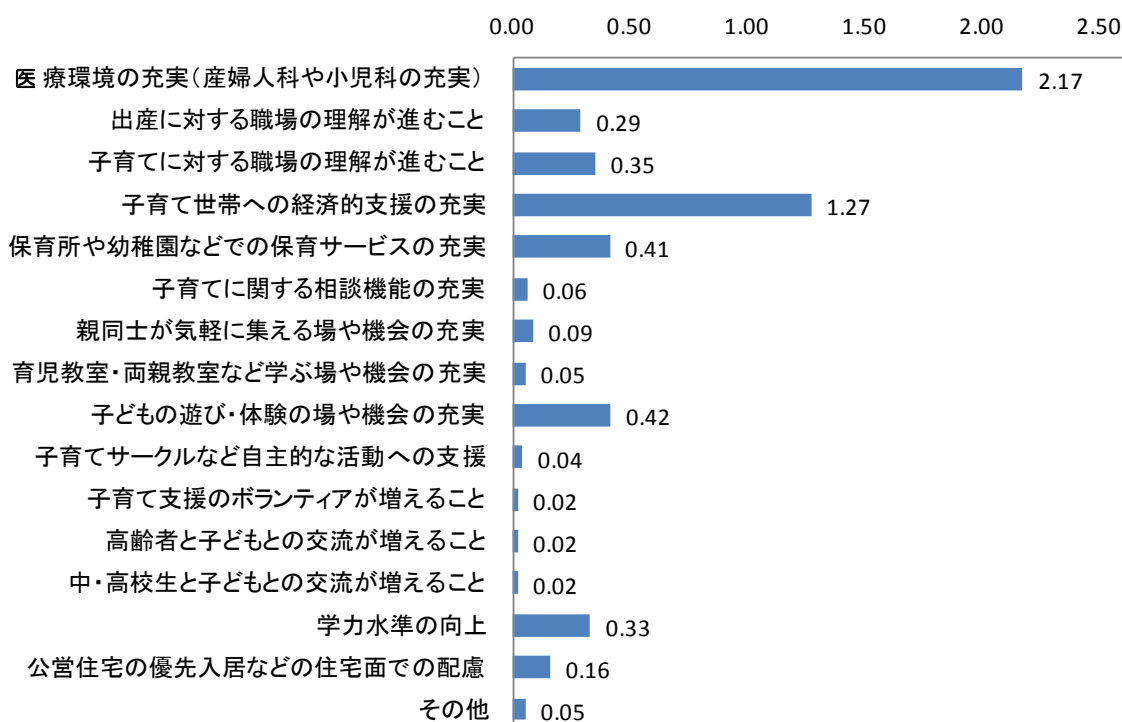


㊸ 出産、子育てに関して望まれている支援（複数回答）

根室市内での出産、子育てに関して期待されている支援等について、第1の希望から第3までの希望の順位ごとの得点化を行った結果、既婚者全体では、「医療環境の充実」が最も平均点数が大きく、次いで、「子育て世帯への経済的支援の充実」となっている。

これに次いで、「子どもの遊び・体験の場や機会の充実」が多くなっている。自由回答では、外出時や急な用事が発生した時などに預かってもらえるサービスなどに対する要望が多くあった。

出産、子育てに関して望まれている支援（既婚者全体）（得点換算）

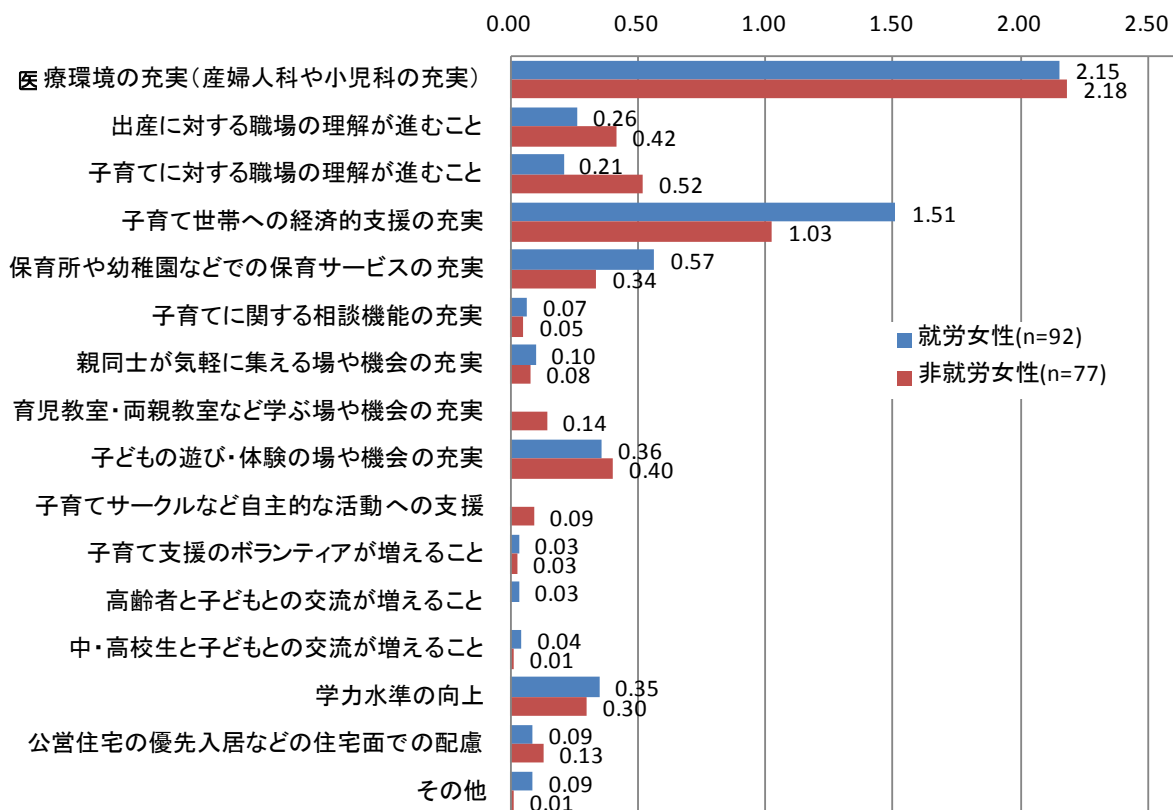


次に、就労女性と非就労女性で比較した結果、就労女性では、得点の大きい順に「医療環境の充実」、「子育て世帯への経済的支援の充実」、「保育所や幼稚園などでの保育サービスの充実」、「子どもの遊び・体験の場や機会の充実」となっている。

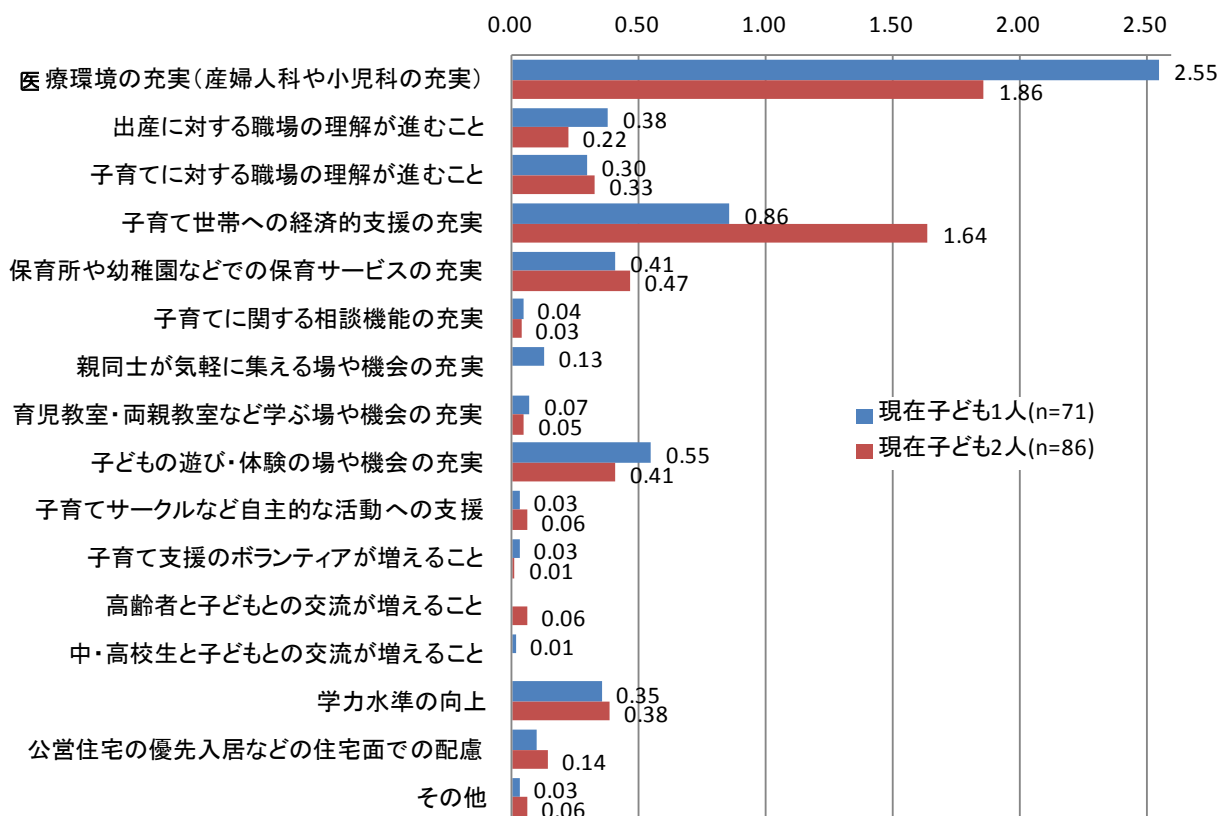
これに対して、非就労女性では、得点の大きい順に、「医療環境の充実」、「子育て世帯への経済的支援の充実」、「子育てに対する職場の理解が進むこと」、「出産に対する職場の理解が進むこと」となっており、職場の理解に対する希望が就労女性よりも高くなっている。

すでに子どもが1人いるところと、2人のところでの比較を行った結果、根室市内での出産、子育てに対する不安を反映して、すでに2人の子どもを有しているところでは、「子育て世帯への経済的支援の充実」が1人子どもの場合よりも倍近い点数となっている。

出産、子育てに関して望まれている支援(就労女性と非就労女性)(得点換算)



出産、子育てに関して望まれている支援(現在の子どもの数が1人と2人)(得点換算)



(3) 意見・提案

①独身者

意見・提案
・市内に産婦人科がないので不安。 ・市内の病院を信頼できない。 ・市内で働く若者の収入が平均して低いと思う。
すべてにおいて支援が足りていないのもっと考えてほしい。
・若者が少なすぎる。 ・収入が少ない。 ・家賃が高い。 ・街に何も無い。
子育て住宅の支援。収入が低い割に家賃が高いので、市で空き家などを安く提供してもらいたい。
公営住宅に入りたいが、治安が悪いので子育てに不安がある。
最低でも出産体制が整っていれば安心できるので、改善してほしい。
結婚できない最大の理由は、根室市では出会いがないこと。市でイベントなど気軽に交流できる場を企画して盛り上げてもらいたい。
人口減少が不安。
根室市で安心して出産できるのか、子育て環境設備は整っているのか、設備があるとすればどのような方法で知ることができるのか、疑問に思っている。
・ごく少数ながら根室市にも LGBT(同性愛者・性同一性障害者等)がいることを理解してもらいたい。 ・子育てより医療サービスの向上が先決。 ・出産できないこと、学ぶ場所がないことが問題。
近くに子どもを連れて行ける娯楽施設のないことが不安。デパートの中にあるゲームセンターのキッズスペースのようなものすらないので物足りない。
・出会いの場を定期的に設ける必要がある。出会いを求めている人を把握して案内を出すことも必要。市内で結婚式をあげる人のために、会場などを一覧にしたパンフレットを作成する。 ・子育てに関する相談が 24 時間可能で、必要に応じて訪問してくれるようなシステムをつくる。 ・医療関係を充実させる。 ・結婚して市内に新居を設ける世帯に対し補助金を出す、または優遇する。
病院の体制が不安。
根室市を出ないと満足な生活ができないと思っている。 大人になった今、電車の乗り方もわからず、世間で恥ずかしい思いをする。田舎で育つ子どもは皆そうかもしれないが、子どもが十分に成長できないと思う。
・子どもの遊ぶ場所が少ない。 ・パチンコ屋ばかりが多すぎる。 ・男女の出会いの場をつくってほしい。
根室市は産婦人科が外来なので、出産が大変だと思う。市内に産婦人科をおいてみてはどうか？
・根室市が何を行っているか知らない。 ・医療環境の充実。 ・雑に感じる医師の態度の一掃。
根室市に移住したばかりであまりよくわからないが、自分の出身地と比べ、産婦人科や病院など医療面の不自由さ、母親や子供どうしが交流できる公共施設の不足など、出産・子育てに不安を感じる。そのため、帰って出産・子育てしたいと考えている。
低所得でも出産・子育てできる環境の整備。
・子どもの遊ぶ場所がない。 ・市立病院の看護師の教育に問題がある。態度が横柄なので、厳しく教育してほしい。

意見・提案
出産後の継続就労を手厚く支援してほしい。子どもを産むために現在の職場を退職しなければならないという状況になれば出産する気持ちも薄れてしまうのではないかな。
市内で出産できるように願っている。妊娠がわかってからも病院に行くが大変でためらってしまう。
夢の森公園のように室内で遊べる子どもたちの遊び場を、運動公園の一角にでも作ってほしい。
・結婚しても出産できない（医療環境が整っていない）のは問題だ。 ・子育てするにしても教育機関が脆弱だと感じる。 ・年老いたときのことを考えると、環境が整った他の土地に移住するのは不思議ではない。経済基盤である水産業が危ない今、対策を打たないと人口流出は免れないし、経済的な不安があれば結婚、出産、子育ても考えてしまう人が増えると思う。手遅れかもしれないが、市はもっと危機感を持った方がいい。
・新しい病院に何十億ものお金をかけて外側は大変立派になったが、肝心の病室が狭い、看護師の質が悪い、内科医ばかりで産婦人科医がいない。これでは子どもを産めと言われても産めるはずがない。赤字経営の病院をあそこまで大きくする必要はなかった。根室市役所の経営陣は一体どうなっているのか？ヘリポートのない救急病院など聞いたことがない。両親もここには住めないと行って釧路市に移った。自分もいずれは出ていくつもりだ。 ・漁業がダメなら観光に最大の力をそそぐべき。花の名所をつくるとか、キャンプ場とパークゴルフ場と遊べる施設を1箇所にまとめてつくり宿泊客を増やすとか、工夫してはどうか？前にもこのようなアンケートに答えたが、まったく反映されていない。どうかいろいろな人の声に真剣に耳を傾け、根室市の将来を考えてください。
もう少し子育てなど福祉関係の取組みに力を入れてほしい。活気のある町づくりをしないと、移住したいと思って市外から来る人はいない。今の状態では、この町で結婚、子育ては難しいと思う。
根室市にいたら結婚できなさそうだと地方の友人に言われる。人口が少ないことに加え、出会う場もなく、結婚への意識の低さが原因かと思う。結婚も出産もお金がかかるので不安が大きいこともある。仕事がなく根室市から出る若者も多いのが現状ではないだろうか。
別海町や中標津町、釧路市まで行って出産するのは大変だ。陣痛が来てから車で走るとなると、妊婦の精神的な負担はものすごく大きい。根室市の病院にも産婦人科をつくり、気軽に子どもを産める体制をつくってほしい。
産婦人科医と助産師のいる根室市にしてほしい。
市立病院が新しくなったが、根室市では出産できないなど内情は何も変わっていないと思う。出産はまだ経験していないが、いろいろ不安だ。一刻も早く根室市で出産できる環境を整えてほしい。
・職業の選択が限られ、収入が少ない（条件に見合った職がない）。 ・核家族が多い→子どもを預けられない→働けない→収入がないという悪循環。 ・女性は採用しない（妊娠や出産ですぐ辞めるから）→働けないと貯蓄できない→子どもがつかれない（出費が増える）。 ・子どもを預けられる時間が限られる、または預けられない。 ・誰にも相談できない。 ・病気になっても市立病院では対応できず、釧路市や札幌市などに回されてしまう。
・根室市で出産できるようになれば嬉しいし、距離的に楽になる。 ・子どもが病気になればすぐ釧路市に行かなくてはならない。かといって根室市の病院だと不安。姉を見ていると大変そう。
・若い人が圧倒的に少ないので市内での結婚は難しいと思う。 ・根室市の図書館はとても発展しているので、図書館で子育て関係の教室やイベントをもっと実施してほしい。
・まず婚活の場を増やすことだと思う。合コンや街コンイベント、結婚相談所の誘致など。 ・経済的な理由から結婚に踏み出せない人もいると思うので、根室市経済も向上しないといけないと思う。 ・市立病院の産婦人科が良くない。入りづらい。

意見・提案
現在、2人の子どもがいるが、子どもが病気がちで仕事を辞めざるを得ず職を転々とした。今は子どももあまり病気をしなくなったので、資格を利用して働こうとしているが、時間が合わないなどの理由で仕事ができないため、根室市を出ようかと考えている。
医療や経済の面で不安はあるが、保育園、幼稚園の一時保育があるので誰も見てくれる人がいないときは助かる。でも一生懸命働いて子どもを預けている人もいれば、子どもを預けて働かずにパチンコなどに通っている人も周りにたくさんいる。本当に必要な支援はありがたいが、子育て支援をいいことに、子どもから離れて楽しみを見つけている親に育てられた子どもは、心が豊かに育つのだろうか。
免許がないので、根室市で出産できるようになれば、自分も家族にとってもありがたい。
根室市で出産できるようにしてほしい。根室市で生まれたので、根室市で産みたい。
街に娯楽施設を増やして若者が暮らしやすいようにしてほしい。
・自分のことで精いっぱいなので、結婚は考えていない。 ・子どもたちの遊べる場所が少ない。青少年センターのような、運動のできる体育館のような施設がもう1つぐらいあったらいい。
街コンのようなイベントを開催してほしい。
・出会いの機会や町おこしで募集をかけ、市外からの移住者を増やしてはどうか（働く場所の提供も必要となるが）。 ・子育てを保育園や学校にゆだねる傾向が強すぎる。気軽に利用できるサークルやコミュニケーションの場を公につくっていくべきだ。保育士や教育者への責任や負担が大きすぎる。 ・長く住むには医療への不安が大きい。釧路市への通院者が多い現実を理解してほしい（交通費がかかるし、休みをとらなくてはいけないので良く思われない）。
・一時保育できる場所を増やしてほしい（保育所などの都合でなく、希望するときに預けられる場所）。 ・夢の森公園のような屋内施設を作ってほしい。 ・お見合いパーティなどをする際も、同じ建物内で子どもを見てくれる所がないと参加できない。 ・小児科、産婦人科を充実してほしい。大きいお腹で釧路市まで通院するのはきつし、体も心配。 ・小児科の看護師が冷たすぎる。もう少し優しく丁寧に接するべき。
若者の税の優遇。
地元で子どもを産める病院がないことを誰もが不安に思っているのに、いつまで経っても改善されない理由は「医師不足だけ」なのだろうか。男性には深刻さがわからないのではないかと勘ぐりたくなる。 根室市での出産・子育てには不安だけで希望がない。
子どもがもっと増えるように、子どもにかかる費用を支援してほしい。
・根室市には知れば楽しいことがあふれているが、情報発信する力がないと思う。市のホームページも更新されないところが多く、イベント情報も終わってから知るという感じ。 ・病院、小児科も、一生懸命対応してくれる医師には感謝しているものの、個人情報等を喋るなど看護師の質の悪さが目につく。 出産できる環境になったとしても、たとえ市外に通うのが大変でも、根室市の病院には行きたくないと思ってしまう。 ・遠くてもわざわざ釧路市や中標津町に行くのは、根室市に何も無いからというより、値段やサービスも含め、他で買った方が質が良いように思うためかもしれない。 ・光洋町にたくさん団地をつくっているが、先に歩道を直してください。中央に電柱のある細い歩道を通う小学生が危険でかわいそう。 ・古い長屋の公住も残すなら補修して、チャレンジショップのような形で安く貸し出してはどうか？若い人たちの夢を叶えるような環境をつくっていけば、30代の世代が住み続け、その子ども世代も残っていくのではないかな。 ・根室市以外の人たちの方が根室市の良さを知っているのも、もっと地元が良いところを発信していけば人も増えていくように思う。 ・屋内で遊べる夢の森公園のような場所をつくってほしい。

意見・提案
結婚しても、市内で出産できなかったり、正職につけなかったりするのでは子どもを産もうとは思わない。
もっと婚活系のイベントを増やした方が良い。
近所の人、職場の人に不快なことを言われる。子どもも同じで、理由を聞いても教えてくれない。こんな状況では、結婚はおろか付き合う相手もできない。たとえ結婚できたとしても、子どもが産める状況なのかわからない。根室市の人も、何が一番良い解決になるのかももっと考えた方がいい。
根室市でも出産のできる環境が充実していればいいと思う。他の町で産むのは、肉体的、精神的に大変そう。
根室管内で根室市という決め手がなく、定住希望地が根室市か中標津町近郊かで悩ましい。鶴居村や釧路市、標茶町などを参考にして、医療や大型商業施設の充実、物価の抑制など、お金のかからない街づくりをしてほしい。
・市内でも出産できるように産婦人科を充実させてほしい。通うのは大変そうだし、何かあった時に怖い。職場の人たち（転勤の可能性もある）も、根室市で妊娠したくないと言っている。 ・市立病院の医師は診察がいい加減なので不信感がある。根室市で受診しても良くなる気配がないため、市外の専門病院に通っている。
・産婦人科を復活させてほしい。 ・助産師、看護師、医師を増やしてほしい。市立病院の受付の態度を変えてほしい。とても機械的な対応なので行きたくなくなる。
物心つく頃から根室市で出産できないことが気になっていた。これから結婚するという時にこのアンケートが来て良かった。
ずっと実家暮らしで家事もそれほどしないまま育ってきたので、料理教室や、新婚世帯を応援してくれるようなイベントがもっとあれば心強い。
根室市で出産するとしたら産婦人科にすぐに行けないのが不安。体調が急変した時に市外へ行かなければならないとなると、母子ともに負担がかかるので、市立病院で産めるのが一番良いと思う。
もっと子どもと遊べる場所を増やしてほしい。
・24時間利用できる託児所をつくってほしい。根室市には、母子家庭で地元ではない人や、夜の仕事をしている人が気軽に子どもを預けられる場所がない。 ・東京では、母子家庭に対して光熱費の負担を軽くしている。 根室市でも何か考えてほしい。
実際に出産し子育てを始めれば深く関係してくるのかもしれないが、結婚の問題と根室市は、自分の中ではまったく関係ないように思う。結婚→出産・子育てのスタート、という考えも特にない。
理想の子ども的人数などを聞く前に、出産したいかどうか、女性には聞くべきではないか。このアンケートで何がわかり、変わるのかわからない。
・市内で出産できないのは本当に不便。産科はあってほしい。 ・医療環境が悪い。良くしてほしい。
根室市では分娩できないので、産むとなった場合に不安だ。
根室市は他の管外地域の人と関わる機会が非常に少ない地域であるために、店の接客ひとつとっても、知り合いにしか売る気がない態度で、知らない人が来てもそれを今後のお客にしようという気持ちがまったく伝わらない。
未来の根室市に期待するなら、今の子どもたちに、他地域との交流を増やして様々な知見を増やす教育をする必要を感じる。
日本一といえる何かを持った光る教育がないと、今後廃れるばかりで、そんな街に死ぬまでいようとは思わない。他地域から転入した人が危機感を持ち、本人たちは考えない。
そんな街に、良い子育て環境があるとは思えない。
医師を確保して、根室市で出産できるようにしてほしい。
アパートの家賃が高すぎて、自立したい若者が住むには手が届かない。家賃が安くなるなど自立を支援するような制度があれば良いのでは。

意見・提案
出産するためには 1 時間半かけて隣町まで行かないとならない。どうにかならないものか？
出会いの場や機会がより多くあれば、なお良い。
・産みたいという気持ちはあっても、医者が不足しているので地元では出産できない。 ・教育と遊ぶ場所の充実が必要。 ・ゲームセンターなど楽しむ場所がないのは変だ。
根室市出身者が結婚相手だと様々な情報が皆に知られていやなので、地方出身の方と結婚し、知り合いのいない土地か、釧路市に住みたいと考えている。 病院に通院しても人に知られてしまう環境が不快だ。
・根室市では、母子家庭への援助金などが他の地域と比べて大変不足していると思う。教育費・教材費の負担はやむを得ないにせよ、母子で生活するうえで最低限の援助や支援しかないので不満だ。他地域のように、住居などの援助金や水道代などの半額支払制度などにも取り組んでほしい。 ・雨天でも子どもたちが伸び伸び遊べる場所をつくってほしい。 ・高齢者も子どもたちにとっても、住みやすく居心地の良い街づくりを期待している。
・子どもの遊べる場所が少なすぎる。あっても安全でないと意味がない。 ・医療環境も問題。「根室市の小児科にかかっていて大丈夫？」とよく言われる。先日、子どもを連れていったが、3 時間待たされて診察時間は 5 分、薬を出されて終わりだった。尿検査も血液検査も、こちらが頼まないと実施しない。病気になるたら根室市を出るつもりだ。
将来のことを考えると、子育てはもちろん若者が住みやすい環境、魅力を感じる街づくり、産業の創出に全力を注いでほしい。 高齢者にばかり目線を向けていても、先は見えていると思う。
若者が根室市から離れていく今の状況で、結婚の可能性を感じることはできない。 結婚する人たちは学生時代から付き合っている人ばかりで、他にはきっかけがない。 地方から移住してくる人もいないので、先が見えない。
市立病院で出産できるといい。

②既婚者

意見・提案
新病院にはなったが待ち時間が長いし、根室市内で出産できなければ不自由。別海町、中標津町、釧路市まで通うのもコストがかかり体力的にも、周りの人の協力も薄くなるので出産が他地域の妊婦より大変で一大イベントになる。少子化と騒いでいるが特別改善されるわけでもなく、費用や労力をこちらに使用してほしい。これからの根室市に期待する。
根室市内で出産できる環境をつくってほしい。
夫の所得額があるためこども医療カードをもらっていないが、夫の仕事（漁業）は5月～12月で終了し、1～5月初旬まで無職になる。短期のアルバイトなどで5月までやりくりしているが、こども医療カードがないためこの時期に病院にかかる経済的に大変。来年から鮭鱒漁がなくなれば、さんま漁まで仕事がない。所得制限でカードが発行されないのと思う。
子どもたちが遊べる施設を増やしてほしい。 たとえば夢の森のように屋内で遊べる場所。
根室市立病院は新しくなっても医者がきちんとしていない。小児科は特に不安・不満。出産も根室市ではできないのでは話にならない。 子供手当は、小さいときに金額が多くて、成長してお金がかかるころに減るが、逆にしてほしい。
市立病院が新しくなったものの、出産できないのでは、病院として疑問だ。別海町や中標津町まで走らなくてはならないのでガソリン代もかかる。街の中にある運動公園のほかに、中標津町の夢の森のような、雨が降っても遊べる室内の施設がほしい。
転勤族にとっては子どもの預け先がとても少ない。保育所の一時預かりなどができるようになって良かったが、2～3日前までに予約、定員がいっぱいになったら預けられないのは不便だ。事前に（転勤族、身内がいらないなど）条件付き・有料で良いので「登録→保育所委託ではない託児場所」がほしい。今回のようなアンケートが来るたびに「釧路にあるような託児のサービス事業を希望している」と発言しているが、変わらないまま残念。 根室市の町自体は親切で気さくな方が多く気に入っているので、10年ほど住んでいるが、子どもの預け先だけは何かならないものかと思う。 3人目からの保育料無料化、給食費無料化には大変感謝している。
根室市内で安心して出産したい。医師が曜日で変わるので安心して行けない。釧路市の病院で診てもらわないと安心できないので、根室市で安心して診てもらえるようにしてほしい。 子どもや高齢者の経済的な負担が大きいので、根室市で少しは負担してほしい。ドクターヘリはなぜ夜間飛ばないのか疑問に感じている。
安心して出産できるよう、産婦人科の医療を充実させてほしい。
不妊治療や検査が市内でできる環境を整えてほしい。今のままでは妊娠・出産すべてが不安。
子どもの医療費を6歳くらいまで無料にしてほしい。以前住んでいたところでは小学校にあがるまですべて無料で初診料もかからなかったのが、根室市にきて驚いた。 小児科や耳鼻科ももっとほしい。決まった曜日にしか耳鼻科の診療がないせいか、ひどく待たされた。病院を増やしていただければよいのだが、子どもたちのことを考えると根室市にはもう住めない。
乳幼児の預け先がない。 根室市で出産できないのでは、特に2～3人目を産もうとする人には希望が薄れる。少々お金がかかっても、出産時に家族が病院に宿泊できたら、実家を頼れない人でも安心だ。小・中・高の学費を無料または安くすればたくさん子どもを産もうと思う。子どもが病気の時は保育所を休ませるため仕事も休むが、それを理解し対応してくれる職場が増えることを期待する。 ママが子どもを預けて遊べるイベント（メイク、ネイル、習い事など）、婚活イベントがあるとよい。

意見・提案
現在、3人目を妊娠中だが、上の2人は釧路市で出産した。市内で出産できないことや医療の面で、妊娠を望む人がいても難しい。今の時代は、結婚適齢期を過ぎた方が多いが、このままでは出産する人が少なくなるのは必然。高齢者が増える一方で、これからの子どもたちの負担が大きいと思う。結婚する人を増やす努力など考えてほしい。
市立病院のスタッフの感じが悪く、不親切というか優しくない。根室市で出産できるようになったとしても、ここで出産したいとは思えない。今後も根室市で暮らしたいのどうかお願いします。
市内でも出産できる医療環境を整えば、安心して出産できると思う。
子どもはたくさんほしいが経済的にきつい。多くは望まないが育児手当の厚遇がほしい。国と道と市が、少子化に危機感をもって真剣に考え、サービス・育児手当の厚遇があれば、子どもの数は増加すると思う。皆、同じようなことを思っている。
産婦人科はあっても根室市では出産できないので、何かあった時の不安は大きい。中標津町、釧路市に通うことになり、出産のときだけ行くにしても、道中何かあったらと思うと心配。夫の仕事の都合で転勤する可能性があるのも、根室市にいた間は子どもをあきらめることも考えている。求人票で助産師を募集しているのを見るが、根室市には助産師の資格を持っている人が居ないのが現状ではないかと思っている。
出産・子育てが落ち着いたところで働きたくても職場がない。子どもの休みに合わせて土日に休める仕事はさらにない。根室市もいろいろ大変だとは思いますが、もう少し子育てしやすい環境であればありがたい。
市立病院が新しくなっても、医者がいないなど産婦人科が整備されていないと意味がない。別海町の病院でも初産は受け入れてくれないので、中標津町や釧路市まで行く必要がある。妻は里帰り出産だったので、交通費などの助成も一切つかなかった。第一次産業の個人事業の場合、親が世帯主になっている若夫婦も多いが、その場合は、世帯としての収入が高いため、児童手当の特別給付は一切もらえない。しかし、親からは給料制でもらっているため収入はきつく、サラリーマンと変わらない。にもかかわらず支給されないのは不公平だと思う。柔軟な対応を希望している。
根室市は転勤族が多いので、市役所のHPに詳しい子育て情報がまとめられていると良い。今のHPは情報が一元化されておらず、どこを探したらよいのかわからない。転勤族の場合、根室市に来る前にインターネットの情報を頼りにしているので、たとえば年齢別に情報を分けたり、子育て情報だけをまとめたガイドブックがあったりすると助かる。
市内で分娩できるようにしてほしい。お腹が大きくなってから中標津町や釧路市へ通院するのは大変。
釧路市こども遊学館のように、雨天でも体を動かせる施設がほしい。 学力低下と人口減少を逆手にとって、幼・小・中・高一貫教育にし、市内に散在している学校を街の中心にまとめてしまえば、教員も子どもも十分に集まるから、競争意識が高まって学力UPにつながると思う。田舎で少人数もいいのかもしれないが、大勢の中で少し競わせてほしいとも思う。現状のままでは大自然にしか魅力がなく、人口の流出は当たり前と思う。予算のない中、知恵を出し合って、魅力あるまちになってほしい。
消費税、電気代、すべての税金が年々上がっているのに月収は下がり、生活は厳しくなる一方で、子どもがほしくても生活していくだけで精いっぱい。子どもが大きくなるほどお金がかかるのに児童手当が下がっていることに疑問を感じる。高齢者の贅沢が目につく。臨時給付金の3千円も考えもの。
市・国に納める税が大きすぎてどれだけ働いても足りない。金銭的負担は上がっていくものばかりで下がるものが何一つない。もっと子育て世帯への補償があってもよいのでは？児童手当も足りない。4ヶ月に一度ではなく月1回にしてほしい。高齢者より子育て世帯をもっと優先的にすべき。
乳幼児の衣類の品揃えが少なく、市外の店にいかないとバリエーションがない。 幼児・児童支援に関して、デイサービスに対する周囲の偏見の強さが目立つ。苦手を補うために利用すべきとは思いますが、通っていることを周囲に知られると、障がい児だと思われる。意識を変えて、子どものためにもっと気兼ねなく利用できる施設になればいいと思う。 空室住宅も、内装や補修をして入居してもらえるように工夫・補助するとよいと思う。移居したい家族は多いのに、まともな物件が少ない。安心して子育てできる環境・支援を期待している。

意見・提案
市内に出産できる病院が 1 つもないことがとても負担。初産婦が出産できる病院は一番近いところでも車で 1 時間半もかかり、冬の出産は通院も含めてとても大変だった。子どもが診てもらえる病院が少ないため、仕方なくそこへ行くといった状況である。産婦人科、小児科ともに充実を図ってほしい。
結婚後や出産後の助成を増やしてほしい。
子どもが遊べる場所が少ないので地方へ出かけてしまう。市内に遊べる施設をつくってほしい。
市役所におむつ替えの台が設置していなくて驚いた。 休日に室内で遊べるところがないので、夢の森公園のような施設がほしい。1 歳未満児の託児サービスがなく、近くに親戚がいない家庭で病気や急用があるときに子どもを一時的に見てもらえず困った。託児（一時保育）の年齢制限を下げしてほしい。せめて 1 歳を超えたら預けられるように変えてほしい。
市立病院で出産できるようになったら良いが、医師が来ても、看護師さんの対応を改善する必要があると思う。自分が妊娠していた頃は根室市でも出産できたが、周囲から市立病院の看護師さんの対応の悪さを聞いて、釧路市の日赤病院で出産した。根室市は小さい町なので悪い評判はすぐに広まる。そういうところから改善していけばよいと思う。
家族がいて、他地域に住んだ経験もあるせいで、根室市が大好き。おいしい魚を食べて子どもは育っている。 市内で出産できるのは理想ではあるが、他地域への通いも楽しかった。 反面、衣類やスポーツ用品を買うには選択肢が少なく不便を感じている。手足を鍛えるクライミングのような遊具を備えた室内施設があるとよい。
運動公園以外に子どもを連れて遊べる施設がない。しかも雨の日は行けない。お金がかからず子どもが元気いっぱい体を動かして遊べる施設が市内にあったらいいと思う。
保育料が高いため、預けるために働いているような感じがする。保育園のときから英語に触れさせたい。 家賃が高いため結婚するときにとっても不便。空き家があっても貸していないことが多く、空き家が少ない。 パートなので出産時には会社を辞めなくてはならないが、再就職できるか不安で出産に踏み切れない。パートにも育児休暇がほしい。
小児科の入院部屋を増やしてほしい。兄弟部屋が 1 つしかないため、入院のたびに釧路市まで行っている。新病院が建ったのに不満。
市内で出産できる環境を整えてほしい。
出産できる環境、経済的支援がほしい。子どもの屋内遊技場が少ない。 もっと子どもがほしいと思うが、メリットが少ないのでつくる気になれない。
根室市出身の医者を増やせるような教育のしくみを充実させて、地元に戻ってもらえるようにし、そういう医者の待遇を良くするべき。 そのための教育の強化に費用をかけるとよいと思う。教員に対する処遇や環境の改善も希望する。
今後、根室市で子育てしたいと思っても、古い借家やアパートがほとんどで、安心して住めない。
現在妊娠中で出産予定だが、釧路市まで通うのが大変だし、何か緊急なことがあったらと思うと不安。近くに家族がいなければひとりで通うのは無理だし、2 人目、3 人目の子どものことを考えるとなおさら。少子化の一番の原因は、出産環境が整っていないことと思う。根室市での出産を希望している。
障害のある子どもたちが通える学校ができたらいいと思う。
市内で出産できないのはとても不安。そのため子どもをつくるのをためらってしまう。早急に安心して出産できる環境を整えるべき。保育料も根室市では高額で、共働きしていても保育料にかかってしまっただけでは意味がない。
結婚や転職で市内に転入してきた人から、公園や商業施設が圧倒的に少ないという声を耳にする。商業施設が発展するよう署名を募り、市長に提出するなどして町を発展させることは可能だろうか？

意見・提案
市内で出産できないのは厳しい。中標津町までの通院も大変で、今より補助も少ない。妊娠していることがわかった時点で、別海町病院では町民優先を理由に、受け入れを拒否された。 子育て環境としては、大きな公園など遊べる施設の拡大を希望している。
児童手当の金額が少ない。保育料も高いので、共働きでも余裕がない。
地元で出産できるようにしてほしい。出産後に働ける場所が少なく、理解のある職場も少ない。 病児保育をしてくれる施設がほしい。保育料が高額なため働いても保育料に消えてしまって意味がない。生活に余裕がないと子育ては難しく、このままでは一人っ子になってしまうと感じている。何か対策をとってほしい。
屋内遊具施設をつくる。
市内で出産ができず、小児に対し24時間対応できる病院もないのでは子育てもしにくく、このままでは若い人たちが流出してしまうと思う。 高齢者の施設がたくさんあっても、若い人たちがいなければどうにもならない。 出産のできる環境、いつでも診てもらえる小児科医、耳鼻科医が必要。
夫の収入が少なく生活が厳しい。街を活性化させることで人口増加、収入の増加につながり、各家庭の生活にゆとりが与えられると思う。 地元で出産できないのは妊婦の精神的負担も大きく、市外へ通院することを考えたら、経済的にも、家族にかかる負担も大きい。出産入院時の交通費の支給だけでは少なすぎる。そうした負担を軽減することにより、市への信頼も期待でき人口増加につながると思う。
産婦人科の設置を切望する。若い世代が住みやすい町づくりをしてほしい。そのためには根室市経済の発展も必要と思う。
出産時の病院が少なすぎる。これをなんとかしなければ未来の問題の解決は厳しい。根室市は独立国家的な雰囲気強い町と思うが、ずっと住み続けている住民や市の役人が真剣に取り組み、良い態度と雰囲気をつくらないと、転勤する人は「辛かったな」という思い出しか残らない。
プレミアム商品券は、4月と5月で最大1人当たり3冊購入できるが、他市町村のなかには最大10冊購入できる所もあるとニュースで聞いた。根室市でも最大購入冊数を増やしてほしい。
第一次産業を営んでおり、子どもたちを保育園に入れているので、保育士の減少は困る。小児科の医師も常勤で2人はほしい。子どもは中耳炎になりやすいので、耳鼻科の医師も毎日いてほしい。 3人目の保育料無料化はとても助かる。
根室市内で出産できるようにしてほしい。1人目は破水から30分で出産したため、2人目以降は産気づいてから病院に向かうのでは遅いだろうと助産師に言われた。小児科の数も少なく不安。 娘がまだ幼いため、地域で行われている子育て支援のサークルなどにはまだ参加していないが、子どもを遊ばせる施設もあるようなので今から楽しみにしている。
数年のちには転勤になるので、それまで子どもはつukらない予定だったが、妊娠したので釧路市で出産することにした。ただし、根室市から出産する場合は薬による誘発分娩になり、自然分娩を希望するならホテルをとって待機するようにいわれた。 入院前に陣痛や破水があった場合は釧路市まで行かなくてはならないが、頼れるのは夫だけで、仕事で市外にいる可能性もある。不安や負担が大きいなら里帰りをしたらどうかともいわれたが、事情によってはできない人もいる。 一刻も早いサポートを切望している。根室市での分娩が不可能なら、もっと手厚いサポート（ホテル待機の費用の援助、釧路市までの交通費の見直し、誘発剤などを使用した際の出産費用の援助）を期待する。
中標津町の夢の森公園のような屋内施設、運動公園内のキャンプ場（明治公園には必要ない）、子どもだけのパークゴルフ場がほしい。 子ども3人の世帯には、3人目からではなく第1子、第2子にも配慮した手当がほしい。出産お見舞い金を50万円にしてほしい（中標津町では実施中）。 子ども服を売っている店が少なく、結果的にお金が地方に流れている。何よりも子どもを守ることができる市を、一緒につくっていかれると思う。

意見・提案
いつでも遊べる無料の屋内施設がほしい。子ども服が少なすぎ、靴下を買うにも苦労している。釧路市、中標津町やネットで買うことになり、悪循環だと思う。ファミレスやファーストフード店もあったらいい。
子育てサークル「ふわり」では、根室市を子育てしやすい環境にするためのイベントも計画している。自分たちだけではできない部分を、根室市や子育て相談所などからサポートしてもらえたら嬉しい。市立病院の会計の所にベビーベッドを設置してほしい。子ども連れで行かれる飲食店が増えればいいと思う。美容院や病院に行くときに、夜間も利用でき、当日でも予約なしで子どもを預けられる場所があったらいいと思っている。
婚活的なイベントを、飲食店を通して大きく進めてみるのもよいと思う。根室市内で出産できないのは不便。2人目からの出産の場合、子どもの預け先がないので、近場が理想。転勤で来ている人もいるので、ベビーシッターがいたら助かるのではないかなと思う。親子で遊べる場所があるといい。
子どもがまだ小さいので子育て環境については満足している。今後、気がかりな点は、都市との学力レベルの差。学校以外で学べる場が増えることを期待している。医療サービスの充実も期待したいが、現状を考えると、今いる子どもたちを大切に育てていくための環境を整えてほしいと思う。
子育て世帯への経済的支援や児童手当を、収入に関係なく均一にすべき。子どものための支援金なのに、親の収入に因るのは不公平。給食費を払わない家庭は児童手当から徴収したらよい。
子どものための施設が少ない。すべての学校に放課後教室（一時預かりの施設）が欲しい。医療機関が少ない上に、土・日・祝が休診だったり、隔週だったりとすぐに診て欲しくても診てもらえない状況が辛い。
総合文化会館に赤ちゃんのオムツを替えるスペースや設備がない。早急をお願いしたい。児童館から少年団に直接行くのではなく、いったん家に帰り、ランドセルを置いてから少年団へ行くこと、というルールがある。子どもの安全を考えると、留守家庭で登録している子どもたちが、まっすぐ少年団へ行けないのは理解できない。親が家にいないから児童館へ預けているのに、なぜ留守家庭の子も家に帰らないと少年団に行けないのか、安全面を考えたら絶対におかしい。保育所の1～2歳児は汚れたオムツを持ち帰らされる。市で無料回収しているのに、持ち帰らされるのは無駄。児童手当よりも給食費を無料にして欲しい。3人目以降だけでなく、第1子からお願いしたい。乳児健診の場所を、文化会館などもっと広いスペースでお願いしたい。現在は駐車スペースが狭く、毎回行くのが苦痛。
根室市で出産できるようになればよいと思う。子どもが入院する際、ベッド数が少ないのか釧路市の日赤病院へまわされてしまう。付添人なしで具合の悪い子どもを乗せ、大量の荷物を持ち、2時間かけての移動で大変な思いをした。入院中に子どもの風邪がうつっても、付添いを交代してもらうこともできない。小児科医の確保、充実したベッド数、安心して入院できる体制をとっていただきたい。
今は子どものいない夫婦だが、地元の病院で出産できたら安心。ケガや病気の際に、病院や医師の数がもう少し多いと良いと思う。子育てには金銭面での不安もあり、子育て中の人、既婚者で生活に困っている人が安心して生活できるよう、住宅面での配慮があるといいと思う。
土日子どもと遊べる場所が少ない。外食時、子どもと安心して行ける店がない（分煙していない、子ども用椅子がない）。車のマナーが悪く、安心して歩けない。公園でペットの放し飼いをしている人が多い。根室市で子育てをする前は、もう少し子育てしやすい地域だと思っていたが、実際は子どもと遊べる場所が少なく、息が詰まりそうになるときもある。
日曜日でも仕事がある親は意外と多いと思う。そこで日曜保育などの施設があったら良い。新設は大変なので、市内にある保育所を活用し、当番制などで日曜日も開所して欲しい。

意見・提案
子ども多数世帯への経済的支援が活発化してきているのには感謝している。しかし、病 気・障がいを抱えている世帯にとって、根室市で一生暮らすことは困難。医療機関、障 がい福祉施設がまだまだ充実しておらず、他市受診時の交通費は全面的に支援すべき。 根室市でせっかく生まれた市民を、根室市で過ごせるよう考えて欲しい。
市立根室病院で出産できるようにして欲しい。子育て環境をしっかりとって欲しい。
根室市で出産できないのは大変辛い。産婦人科、小児科の充実をぜひお願いしたい。妊 婦検診は根室市で受診できるといっても、何か問題があれば釧路市まで走らなければなら ないのは、肉体的、経済的に負担。
出産できる所がない点が一番困る。出産に限らず医療が充実していないと、高齢になっ た時のことを考えて、他の市に移住しなければならないのかと不安になる。 結婚・出産・育児、親の健康などすべて医療が関わること。他の町に移住する人が増え ないうちに、もっと充実させてほしい。
結婚は個々の自由。最近何かと結婚を押し進める傾向にあるが、まずは「人育て」では ないか？ 居住地で産めないことが最大の問題点。国の問題でもあるが、出産費用が高い。第3子 以降への待遇など子どもを増やすための策が必要ではないか。 子育て環境については、人口・子どもが少ないので現状で満足せざるを得ないように思 う。Uターンなど条件を設け、学費支援するなど子どもが成長してからの支援を望む。
地元で安心して出産できる病院がほしい。子どもの検診の時、離乳食の話をする所の担 当者の言い方がきつく、とても相談できるような感じではなかった。
出産・子育てに対する経済的支援をもっと増やして、不安や負担を減らしてほしい。 市全体の職場の給与を上げたり、子育てへの理解を増やしたりすれば、移住する人も多 くなると思う。 保育士が少ないため、保育園や幼稚園の定員数があふれていないのに子どもを預けられ ないのは不安。保育士の資格を持った人が根室市で働かないのは、給与が少なく、仕事 内容に見合っていないからだと思う。 もう少し子どもの病気をきちんと判断できる医師がいれば、親としても心強いと思う。
根室市の人の中には中標津町立病院で出産している人はたくさんいると思うが、数年に 一度、市からもらえる子宮がん検診のできるクーポン対応院に、町立中標津病院が入っ ていないのは変だと思う。別海町で使えて中標津町で使えないことに疑問を感じる。産 後も、出産した病院を使っている人は多いと思う。
市内で出産できるようになれば安心。里帰り出産など様々な方法はあるが、共働きの多 い時代なので万が一のことを考えると不安。子育て環境もあまり理想的とはいえない。 学力レベルもかなり心配であり、根室市ですずっと子育てしていくことは考えられない。
医療環境を充実させてほしい。夜中に何度か出血があり病院に連絡したところ、その日 は医師がいなくて診られないからと、市外の病院で受診するよう勧められた。緊急時 にもすぐに対応してもらえるような医療環境を望む。出産前の長距離の移動や、赤ちゃ ん連れの産後の検診も、とても大変だった。
所得がもっとあればもっと子供がほしいし、子どもの保育料、教育費がかからなければ、 もっと子どもがほしい。
根室市は漁業が不振だと活気がなくなるし、そうすると皆、経済的に苦しくなる。 子どもがほしくても経済的に諦めることもあるだろうし、塾や習い事もさせてあげられ ないこともある。将来、子どもが社会人として広い世界に出た時には不利になるだろう と思う。 漁業に頼りすぎない経済力と、活気のある街づくりを期待する。
根室市で出産できる環境に早くなるといい。不妊に対しても、助成金をもっと多く出し てほしい。
この町で子育てしたくない。
市内で出産できるようになれば、今よりも子どもの数は増えると思う。出産できる病院 が遠いのは不安だった。 もっと子どもが遊べる場所や、子ども用品が買えるショッピングモールがあれば助かる。 釧路市や中標津町までの移動中のことを考えると、親一人ではとても行けない。

意見・提案
現在、子ども2人を保育所に預けているが、2人目を出産する際に、育児休暇中は預けられないといわれ、長男は一旦、保育所をやめることになった。産後6ヶ月間は保育所に預けることができないため、仕事復帰もそれ以降になり、長男はブランクの後、再び保育所に通うことになりかわいそうな思いをさせた。3人目もほしいが、こうした経験があるのでためらってしまう。短時間保育でもかまわないので、子どもたちの環境を変えることなく、出産→仕事復帰へとスムーズに移行できるとよいと思う。
教育費の負担が大きく不安。高校の教育費や進学に関わる費用の補助があれば子育てに前向きになれると思う。 医療に関しても、安心して出産できない現状。通院費も一往復分しか出ず、根室市で出産できればかからない費用がかかる。 ひとり親世帯への補助が手厚いが、子育てに関して言えば、父親のいる世帯でも経済的にはかなり大変だと思う。差がありすぎではないか。
子ども2人は市外で出産した。医療も整っていなければ支援なども手厚くなく、早く根室市を出たいと考えている。夫の仕事上、根室市にいたが、何をするにも釧路市や中標津町に行かねばならず、小さい子どもがいると困る。 賃金も安いのに物価は高く、生活がしにくい地域だと思う。市立病院は根室市唯一の総合病院なので、きちんとしてほしい。子どもの遊び場が少なく、つまらない町と思う。
根室市で出産できるようになってほしい。第3子以降の保育園無償化は本当にありがたい。継続してほしい。
根室市では出産もできないし、子どもが病気をしてもきちんと診てくれる病院もない。病院が新しくても医師がいなければ意味がない。つい最近子どもが病院にかかったが、結局、釧路市の日赤病院に回された。子どもを産んでも診てくれる病院がないならこの先不安。
とにかく医療環境が悪すぎる。市立病院の医師や看護師の質・レベルの低さに不満なので、市外で受診している。仕事の都合上住んでいるが、早く出ていきたい。
出産準備や子どもに必要な買物のできる店がない。乳児を連れて釧路市に行くのも大変なので、子ども用品の揃っている店を充実させてほしい。結婚する時もほしい物がある店がなかった。 医療に関しても選ぶ自由がない。交通の便も悪く、両親が遠くに住んでいると孫の顔も見せてあげられないし、助けも求められない。交通の便を充実させてほしい。
根室市内で出産したい。保育所の冬期閉鎖を廃止して通年利用できるようにしてほしい。 安心して出産できる環境が整わなければ、若い人たちも根室市から離れていくと思うし、不安は大きいと思う。せめて緊急時に対応できるシステムを整えてほしい。
第1に人口減少の歯止め。若い世代がいらないから子どもも増えない。出産できる病院がないとは、現市長は何をしているのか？しっかりと行政全体が一つになり、今後の根室市を考えてほしい。税金の無駄のないように。
根室市で出産できるようにしてほしい。出産にかかわる負担が大きい。 雨天や冬にもっと気軽に遊べる場の提供があると助かる。 子育て世代では一軒家で伸び伸びと子育てしたい人は多いのではないだろうか。そのような空き家物件の情報をもっと簡単に得られたらよいと思う。
市内で出産できないのはとても不便。 冬期、子どもを遊ばせる施設が少ない。クルクルなどは土日祝休みなので、父親と室内で遊べるような施設があったら嬉しい。西浜第一公園に時々行くが、安全のためか砂が敷いてあり、砂だらけになるのでかえって遊びづらい（遊具には大変満足している）。 3歳をすぎると子どもの医療費がぐんと高くなるため、経済的負担が大きい。将来的に、進学や就職で根室市から出る子の方が多くなると思うので、人口減が心配。もう少し就職先があるとよい。大学や専門学校もあるとよい。
市内で出産できないのは非常に負担。市外の病院に通うのも、妊婦が長時間車の運転をするのはきつい。冬季は吹雪で通行止めになる恐れもある。 子どもが安全に遊べる場所が少ない。有料でもいいから親子で楽しめる屋内の遊び場があればよいと思う。 「つどいの広場」での活動は、何をやっているのか不明。一部の頻繁に利用する人だけの場のように感じられ、明治団地に入居していないと入りにくい。

意見・提案
出産する際、父親も母親が退院するまで気軽に休暇をとれるようにしないと、第2子を出産時、第1子を見てくれる人がいない場合に厳しい。出産・子育てについては、男性の意識が低い。共働きで子どもが体調を崩した時など、母親が付き添うのが当たり前という意識が強い。市全体での意識改革がほしい。 雨天でも遊べる体育館的なものや公園などはあるが、大人も子供も楽しめるイベントが少ない。子どもは親や周りの大人を見て育つもの。大人が楽しめていないなら「大人になっても楽しいことはない」という雰囲気を感じながら育つため、親世代や若者が楽しめる環境があるとよいと思う。
全道大会規模の大会が開催できる体育館の建設を望む。 市立病院は継続して分娩できるように必ずしてほしい。 若者から高齢者まで、健康増進やコミュニケーションが図れる屋内施設が必要。
宝林保育所前の道路を整備してほしい。交通量も多く、スピードを出す車も多く、きちんとした歩道も横断歩道もなく、通学児童が車道を歩いているのをよく見かける。そのような道路はほかにもあるのに、役所の人は何とも思わないのか？ 産科、小児科の医者はまだ増えないのか？ 根室市に空港をつくるのは無理だが、札幌市から根室市まで1本の特急で来られるようになれば交通の便が良くなって、医者も来てくれるのではないだろうか。JRに働きかけることはできないか？根室市は本気で考えているのかと疑問に感じている。
第一次産業従事者への育児に対する支援が圧倒的に足りない。郡部への送迎、医療機関の混雑の緩和、傷病時の託児サービスや一時預かりなどが必要。休みがない、代わりのきかない仕事をする中で子育てをするリスクがあまりに大きすぎる。自身の体調不良で市立病院に救急でかかった時、乳児連れの来院を拒否された。仕事上預けるわけにもいかず、本当に困った。他に病院もないのだし、行政機関としてやむを得ないときは対応してほしいと思った。
子どもが少ない、若い人がいないというわりには何も改善されていないと思う。何もない。出産できる環境もない。市民の声を聞いてください。 船も出せなくなって経済的にもひどい状況にある。女性が働ける環境にしてほしい。
子どもの遊ぶ場所が少ない。子どもたちがもっと勉強する教室や、サークル活動などのできる施設がほしい。 医療環境を改善してほしい。難病治療が釧路市まで行かないと受けられないのがとても大変。
屋内で遊べる公園があればいいと思う。
出産については良いところがない。産めない、産んで育てる環境がどうこういう以前の問題ではないか。 アパート・マンションも高く、賃金は低い。人口が少なく、街は荒廃状態で、そのうちなくなるだろう。 もう手遅れでどうにかするとは思えないが、何か対策をお願いします。
根室市で出産できるようにしてほしい。
市内で分娩できないのはどうかと思う。真冬の出産はきつい。
夜間、急病のときに診てもらえる病院がないのはどうかしていると思う。これは子どもだけの問題ではない。早急に考えることだと思う。
市内で出産できるようにしてほしい。根室市には夫の転勤で来る人が多く、そういう人たちは何かあっても頼れる人が近くにいない。 気軽に子どもを預けられる場所がもっとあると助かる。有料でかまわないので、当日の朝でも予約可能なところがあってほしい。
転入してきたばかりでまだよくわからないが、根室市の病院で出産できないのは不安。病院も少ないようなので、子どもの急病などいざというときの不安がある。 「わんぱくチャレンジ」によって、子どもたちがスタンプをもらいに張り切って図書館に通うようになったのは良かったと思う。今まで住んでいた地域には、たぶんなかった。
安心して診てもらえる医療機関がほぼないので将来的に不安。 若いうちに大都市へ転職することも検討している。

意見・提案
・子どものことで自由に休むのは、正職員としてはやめてほしい。パートなどで十分。パートだから休めるのだ。正職員のために誰かが犠牲になるのはおかしい。 ・給食費の未納が多い中、3人目から無料になるのは不満だ。育児手当も3人目から増えるのに、3人以上いる家庭だけが得をし、2人しかいない家庭は負担しかないのではないと思う。 ・母子家庭といいながら、内縁の夫と同居して生計をたてていたり、共働きより派手に暮らしている人もいる。一律に手当が出たり、免除されたりするのはおかしいと思う。訪問するなどしてきちんと対応してほしい。 ・医療費1割負担も、生まれてから小学6年生までとなっているが、早生まれの子どもは損だ。卒業する年の3月末で区切るのではなく、その年齢の月日まで使用可能にするとか、義務教育である中学生まで延ばすなどに変えてもらいたい。人口が減っている市として、高額な出産一時金を出すなど、近隣の町に負けないくらい魅力のある対策を立ててほしい。 ・小学校の新入生も、区画で各学校が平均した人数になるよう、現状を見直せば、統合など考える必要はなくなると思う。 ・市の土地を、子育て家庭や市営住宅入居者に譲り、もっと活用してほしい。市の職員がコネで、売られていない市の土地に家を建てるなど、あってはならない。きちんと公表すべき。 ・職員一人ひとりマナーを学んで、愛想の悪い態度を改めてほしい。
産婦人科や小児科の医療をもっと充実してほしい。8ヶ月くらいまでの乳幼児期には地元で入院することができず、とても大変だった。 出産が地元でできないのは非常に不便だし、出産できる環境が整っていないと経済的にも不安で、子どもをつくることもできない。 保育料が高すぎて、何のために働いているのかわからなくなるときがある。 保育所はカレンダー通りの休みだが、シフト制の仕事だと、日祝が仕事と重なったときに預けるところがない。そういう親のためにも、もう少し柔軟に対応できるような施設をつくってほしい。
今年度も児童館（放課後学校）に入れない子がいたようだが、今は働く女性も多くなっているし、自分もパートをしているので、入会できないのではないかと今から不安。 第3子以降の保育料・給食費免除は、3人以上子どものいる家庭にとっては助かるが、子ども2人の家庭でも不安を抱えている。 もっと子育てしやすい環境を考えてほしい。
妊娠がわかってから圧力を受けて会社を辞めたが、会社側は自主退職扱い。 根室市では、妊娠中・子育て中の母親に理解を示している企業はとても少ないと思う。 子どもを遊ばせる所も少ない。スペースはあるのに、運動公園の遊具はなぜ1つしかないのか？夢の森公園のように室内外でたくさん遊べる場所に、国内初・道内初的大型遊具などを置けば、地方から人が遊びに来ると思う。 幼稚園のバス停まで子どもを送って行く時、いろいろなデイサービスのバスが近くに停まるが、小さい子どもと高齢者が交流できるような施設があればよいと思う。
医師不足、出産するために釧路市や中標津町まで2時間もかけて行かねばならないこと、子育て環境の悪さ、すべてにおいて不満。 道内の他の市を見習ってほしい。 自分はマタニティ・ハラスメントにあって会社を辞めることになった。子育てに理解を示さない上司だった。少子化・女性の社会進出などテレビで話題になるが、これが田舎の会社の実態。もっと子育てに理解を示してくれる社会でないと問題だと思う。
現在、子供が1人おり、あと1人か2人欲しいと思っているが、市内で分娩できないことが精神的、身体的に大きな不安である。 子供の健診の際に保育士にいろいろ相談したが、あまり的確な答えが返ってこなくて残念に思った。
根室市での子育ての環境はとても快適であると感じているが、出産できる病院がないことがとても不安だった。2人目と3人目が釧路市での出産だったので、1人目の子どもやお父さんに不憫な思いをさせた。

意見・提案
小さな子どもを連れて外出した時の不便さを改善してほしい。たとえば、市立病院内で子どもを遊ばせられるスペース（ハイハイしても大丈夫な場所）の設置、病院の会計時に子どもを降ろせるようベビーベッドの設置、各商店に、生後３ヶ月の赤ちゃんでも使えるカートの設置。 子どもの衣類を取り扱う店が少なく唯一購入できるイオンでも、種類やサイズが少ないうえに欠品していることがよくある。 医療費の無料化をせめて６歳までに延長してほしい。実際には就園してからのほうが病院にかかることが多いので、家計への負担が大きい。 第３子以降の保育料の無料化には大変、感謝している。
保育料を２人目から無料にしてほしい。漁師にとって保育料は高すぎる。幼稚園も遠い。
１日も早く根室市で分娩できるようにしてほしい。 一時的に子どもを預かってくれる施設があるといい。 仕事をしたくても、小さい子どもがいると断る会社が多いことが残念。
市内の不景気、高齢化による人口の減少、流出による少子化。無意味なプレミアム振興券による消費低迷が理解できない。現在よりも未来に向けてのことを期待しているが、それができないので困っている。 基幹産業の衰退、人口減少が進むなら、他地域への移住も検討中。地域経済を改善しようとする動きも見られず残念。
市立根室病院が建て替えられたが、産婦人科等が出張医のため、受診する人が大変だし、根室市で出産できないことが人口減少につながると考えている。 子供が遊べる施設が少ない面もあり、子どもを育てるのは他地域に移ってからにしようとする人も出てくるのではないかと考えている。
夫の転勤で根室市へ来た。根室市で妊娠期間を過ごしたが、市内で分娩できないことから、何かあった場合の不安は常にあった。 根室市は医療機関が十分でないため、安心して子育てができる環境ではないと感じる。 子育てのサポートとして、集いの広場や子供相談所などが利用しやすく、大変ありがたい。それ以外にも親子が気軽に集まれる施設があると良い。根室市は自然が豊かで子供のびのび育てられると感じるが、他地域に比べて学力が低く、上を目指すことをあまりしないという点で、学力の面が不安。 ネットでの情報が少ないと感じた。子育てに関する情報なども、もっと分かりやすく開示してほしい。
休日に室内で子供を遊ばせる場所が少ないので、そうした場所を設けていただきたい。
産婦人科の充実、分娩の再開が必要。ここをクリアしない限り、子供を産むという選択はないと思う。財政的に厳しいのは理解しているが、他自治体にはない独自の金銭的な支援策（結婚、出産、子育て全てにおいて）がないと、なかなか子供をつくるという選択にならないと思う。
産婦人科・小児科をとにかく充実させてほしい。 子供が安心して遊べる場所を作してほしい。 既存の子供が遊べる施設への交通手段がない。
子育てサークルやイベントを開いたりして、根室市の若い世代は自分たちで盛り上げようと頑張っている。自身は進学などで数年間根室市を離れたただけなので情報も入ってきやすいが、転勤で来た方などは子連れで遊びに行く所や交流の場がないかもしれない。ずっと根室市に在住している人にも行政サービスの充実をお願いしたいが、転勤してきた人たちに、より多くの情報を与えてあげたい。根室市の人間は自分たちで工夫して楽しむ力がとても強いと感じるので。 根室市はお盆が７月で、８月はお祭りや夏休みがないのが不満。夫は日曜日しか休みではないため、泊りがけで家族でキャンプに出掛けたことが一度もない。公務員や大企業に勤めている父親は土曜日でも休みだが、他のお父さん方は働きすぎだと思う。１年に１度リフレッシュ休暇が取れるなど、家族で一緒に過ごせるようなことを、市でやってもらえたら嬉しい。 「国で一番子育てしやすい」といわれるような街になったらいいと思う。
用事があるときに気軽に子どもを預けられる場所、民間の託児所のような所があるといい。病院などで少し預けたいときに、時間や条件にとらわれず、お金を払ってでも預けたいと感じるときがあった。
結婚はしたが、子育てにかかる費用を考えると、明日、職を失うかもしれないという不安の方が大きく、自分たちの生活をしていくことで精一杯。

意見・提案
子どもが遊べる施設がほしい。運動公園や明治公園などの外だけでなく、夢の森公園のような施設、屋内型のリンクなど。 出産施設も必要。産む前から不安を感じ、産んだ後も環境が整っていないので、トータルで考えてほしい。
根室市の企業は産休・育休への理解が乏しいと思う。根室市で出産できない以上、夫の産休・育休も必要に思う。 医療の充実も希望している。根室市の病院に受診しても、すぐに釧路などに行くことを勧められる。小さい子どもを連れて釧路まで通院するのは大変なことなので、病院、医師の充実を心から願っている。
根室市で生活して数年たつが、職場や趣味の場での出会いも、多くはないもののまったくないわけではないと感じている。 別海町などではテレビ番組の企画でお見合いをやっていて、実際に成婚に至った事例もある。道外から配偶者になる人が移住し、子どもをもうけるなどして街の活性化、産業の活性化につながっていると思うので、こうした番組を根室市でもできないだろうかと思う。 「結婚したいが根室市の人とはそういう気持ちになりにくい」と考えている独身男女にとって、道外から根室市に来る人は魅力的に映るような気がしている。
雨天や冬でも遊べる屋内施設がほしい。
昨年も似たようなアンケートが実施されたが何 1 つ改善されていない。部署が違うのかもしれないが、アンケートの実施結果や検証実験、内容の公表など行ったのか？それができていないなら意味がない。 一時保育も現状のままだし、保育ママやファミリーサポート事業はどうなったのか？中標津町ではすでに採用済みだ。リスクばかり考えていたら問題は解決できない。まずは実行委員会を立ち上げる。子育て中の夫婦が困っていることで行政が介入できる案件をすくい上げること。実行委員会で市や道を動かしていくこと。 理想の子ども数に到達させたいなら、産婦人科・婦人科医・不妊症の相談、企業努力、育児への積極的な介入、マタニティの事業や産後の手当（産後の家事サービスやおっぱい相談など）、プールの妊婦とベビーへの開放、雨天時の子どもの遊び場など、書き出したらきりがない。 子どもを産める時期が限られている中で、根室市内でできることは限られている（体外受精は札幌市・旭川市でしかできない）。 産後の保証（保育ママやファミリーサポートなど）もなければ、2 人目以降は難しいのではない。アンケートなどでは生ぬるい。 市が動いてくれなければ何も進まない。個人の力だけでは限りがある。ぜひ、推進してください。今回のアンケート結果についても公表してほしい。できる範囲で検証を行ってください（有識者を交えての討論会でも結構）。そのうえで採用か不採用かを決定してください。
雨の日に子どもが遊べる場所がない。夢の森公園のような場所があるといい。 保育所、幼稚園などの施設はあるが、働きながら子育てする上で、病児保育ができる場所があればいいと思う。 小学校で留守家族児童会を利用しているが、土曜日や振替休日でも 12 時からしか預けられないのは不便。
補助券を使っても妊婦検診が高い。エコーの補助券が足りない。 市内で分娩できるようにしてほしい。 夢の森のような遊び場をつくってほしい。
市内で出産できる環境がないので 1 人諦めている。 医療に関しても、急病や大きなけがをしたときのことを考えると不安。
病院の設備を充実させて看護師や医師の質を良くしてほしい。 根室市の小児科は対応が悪いと思うことが多く、他と比べてきちんと診察してもらっているのか疑問に感じている。 処置室や授乳室のベッドが少なすぎる。すぐに釧路市の病院に回されるので、片道だけでも交通費が出るといい。 街中に無料もしくは 100 円で利用できる循環バスなどがあったら便利だと思う。ベビーカーや車椅子でも通れるスロープなどをあちこちに増やして、子どもや高齢者が住みやすい街づくりをしてほしい。 子どもの物が売っている店が少なすぎる。緊急の時など不便。

意見・提案
第3子からではなく第2子からの援助を希望する。 第2子は保育料・給食費を1/2負担にするといったことはできないか？母親も働かないと生活できない。 夢の森公園のような施設があるといい。 高齢者と幼児たちがいつでも交流できるよう、介護施設と保育所が隣接しているといい。 根室市の学力の低迷は深刻な問題。
医療環境が弱い。
このようなアンケートが何度か送られてきたが、何1つ変化がない。 中標津町は近隣で人口も少ないのに、子どもたちの遊び場や体験の場がたくさんあり、増えてきていると思う。 幼稚園の母親どうしの会話では、根室市は公園がボスフルしかなくてつまらないという声ばかりを耳にする。 自分もチャンスがあれば中標津町に移住したい。 一時期、明治公園に雨天でも遊べる室内施設ができるという話があったが、どうなっているのか？子どもたちが住みにくい、過ごしづらい、遠出したくなる可哀想な街だ。
産婦人科で安心して出産できるようにしてほしい。 根室市で出産できないとなると子づくりをためらう人も出てくると思う。 教育にもお金をかけるべき（教員住宅など）。
根室市での出産希望。 小児科医の充実（医師が不足しているため待ち時間が長い）、医療の技術向上、安全。 給料に見合う家賃（全体的に家賃が高い）。
子どもが遊べる施設（夢の森公園のような施設）をつくってほしい。 学校までの通学路に押しボタン式の信号がなく、非常に危険。 市内に安価な子供服店がない。
人口減少が進む中、子育て世代に優しいまち根室市であることを強く望んでいる。 市内で出産できないことも、人口減少につながっていくのではないだろうか。 産みたくても上の子を預ける場のない家庭にとっては、深刻な悩みだと感じる。
高校まで医療費は無料にしてほしい。 出産時に子ども1人につき市から30～50万円のお祝い金などを出せば、人口が増えると思う。 もっと子どもを持ちたいという希望はあるが、経済的にとても不安で、産むことはできない。出産したいと思っている人を何人も知っているが、皆同じ意見だ。 出産できる施設がないことも理由となって、ますます人口が減るだろう。 自分の子どもたちにも根室市に住んでほしいとは思わない。 市議の議員数を減らしてでも産婦人科医を確保し、市内で出産できるようにし、子育て世帯への給付金を増やすなどして出生率を上げる努力をしていただきたい。
保育所、小・中学校の給食で、アレルギーの子どもにも対応してほしい。 働きながら給食と同じメニューをつくるのは、精神的・肉体的・経済的に苦痛だ。他の都市では対応している所も少なくない。皆と一緒に温かいものを囲んで食べるのが給食だと思う。
住居の説明。おすすめ等（土地、新築、地価）。